

訪日外国人の消費動向

訪日外国人消費動向調査結果及び分析

2024年1-3月期 報告書

訪日外国人の消費動向

2024年1-3月期 報告書

目次

I 訪日外国人の消費動向の分析結果

1. 訪日外国人の属性と旅行内容

- (1) 全目的 …………… 3
- (2) 観光・レジャー目的 …………… 9

2. 訪日外国人の旅行支出

- (1) 旅行支出の構造 …………… 13
- (2) 旅行前支出 …………… 14
- (3) 旅行中支出 …………… 14
- (4) 旅行支出の推計 …………… 16
- (5) 費目別にみる旅行支出 …………… 18
- (6) 来訪目的別にみる旅行支出 …………… 19
- (7) クルーズ客の旅行中支出 …………… 19

3. 土産品の購入実態

- (1) 費目別購入率 …………… 20
- (2) 費目別購入者単価 …………… 20
- (3) 買物場所 …………… 21
- (4) 利用した決済方法 …………… 21
- (5) 消費税免税手続きの実施状況 …………… 22

4. 満足度と再訪意向

- (1) 訪日旅行全体の満足度 …………… 23
- (2) 日本への再訪意向 …………… 23
- (3) 最も満足した購入商品 …………… 24
- (4) 最も満足した飲食 …………… 24

5. 旅行情報と旅行情報源

- (1) 出発前に役に立った旅行情報源 …… 25
- (2) 出発前に旅行情報を得た言語 …… 25
- (3) 日本滞在中に役に立った旅行情報源 26
- (4) 日本滞在中に役に立った旅行情報 …26

6. 日本滞在中の行動

- (1) 訪日前に期待していたこと …… 27
- (2) 今回したことと次回したいこと … 28
- (3) 今回したことの満足度 …… 28
- (4) 利用した交通手段 …… 29

「訪日外国人消費動向調査」は、次に示す3つの調査から構成されている（それぞれの調査の概要についてはⅡ編を参照のこと）。

【A1 全国調査】

【B1 地域調査】

【B2 クルーズ調査】

本報告書のⅠ編は【A1 全国調査】及び【B1 地域調査】の結果を分析したものである。ただし、「2. 訪日外国人の旅行支出」におけるクルーズ客の消費動向では【B2 クルーズ調査】の結果を使用している。

Ⅱ 訪日外国人消費動向調査について

1. 調査の概要

(1) 調査の目的	31
(2) 調査の沿革	31
(3) 調査の根拠法令	31
(4) 調査の対象	31
(5) 抽出方法	32
(6) 目標精度と標本サイズ	32
(7) 調査事項	33
(8) 調査の時期	34
(9) 調査の方法	34

2. 用語の解説

(1) 主要項目	35
(2) 支出費目	37
(3) 買物場所	42

3. 調査の結果

(1) 表章事項	43
(2) 集計方法	43
(3) 調査結果の精度	44
(4) 利用上の注意	44

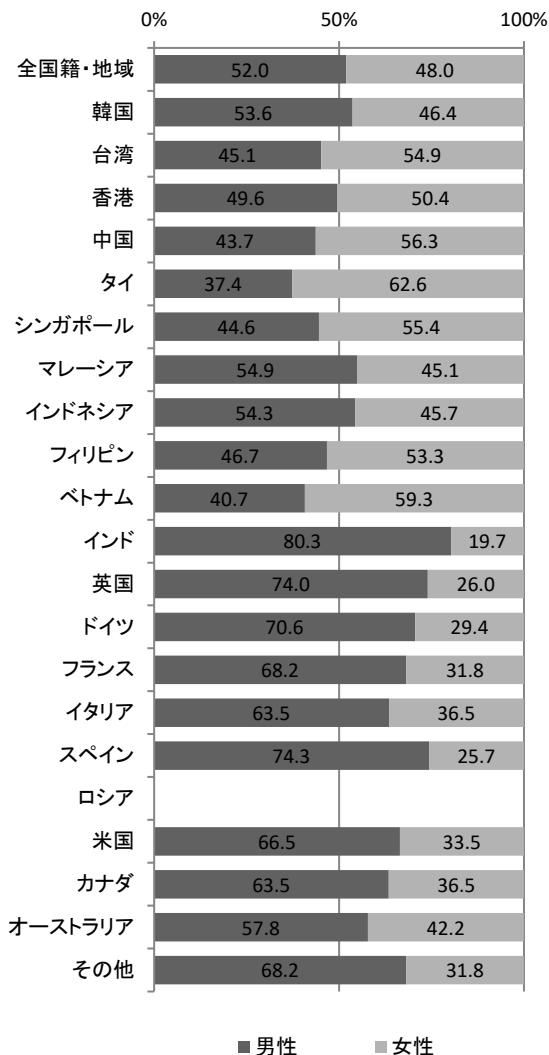
I 訪日外国人の消費動向の分析結果【2024年1-3月期】

1. 訪日外国人の属性と旅行内容

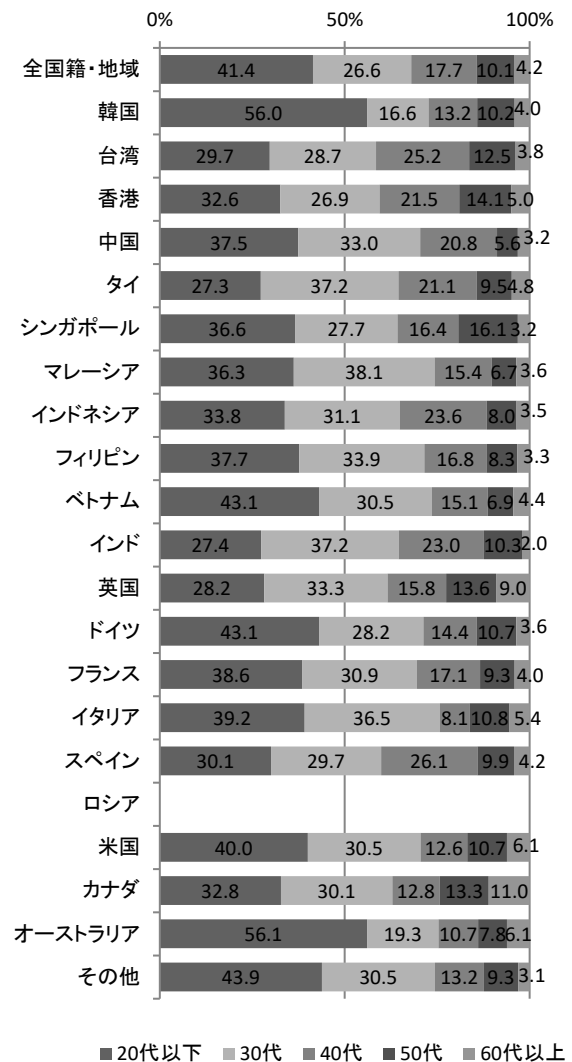
(1) 全目的

- 性別の構成比は「男性」が52.0%、「女性」が48.0%である（図表1-1）。
- 国籍・地域別では、台湾、香港、中国、タイ、シンガポール、フィリピン、ベトナムで「女性」の割合が5割を超える。一方、インドでは「男性」の割合が約8割を占める。
- 年代別の構成比は、「20代以下」(41.4%)と「30代」(26.6%)が高い（図表1-2）。（注：年代別構成比には調査対象外である15歳未満を含まない。）
- 性年代別では「男性20代」(18.7%)、「女性20代」(18.0%)、「男性30代」(14.4%)の順が多い。

図表1-1 性別（国籍・地域別、全目的）

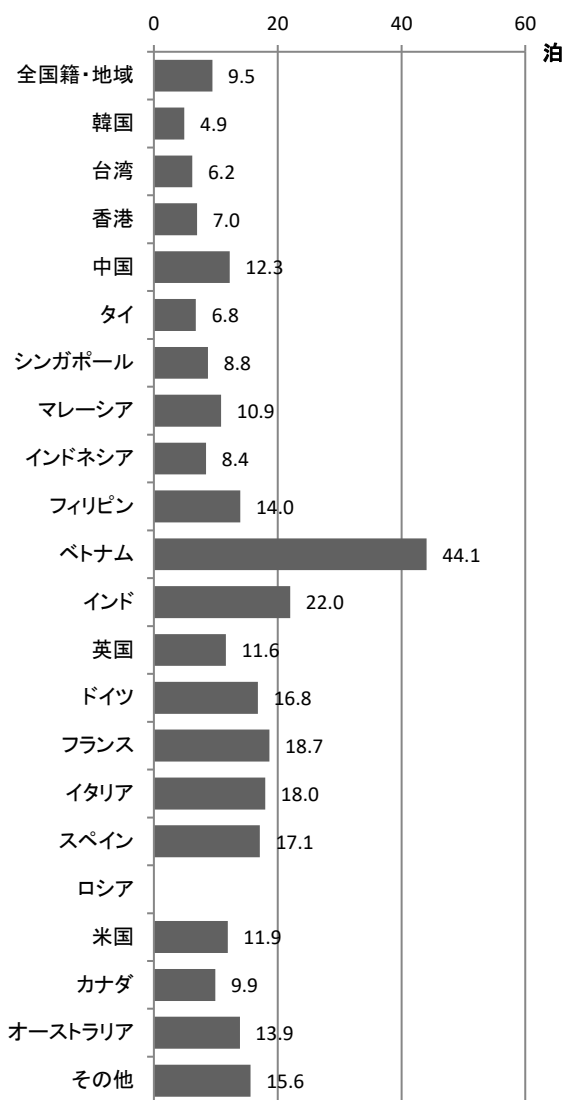


図表1-2 年代（国籍・地域別、全目的）

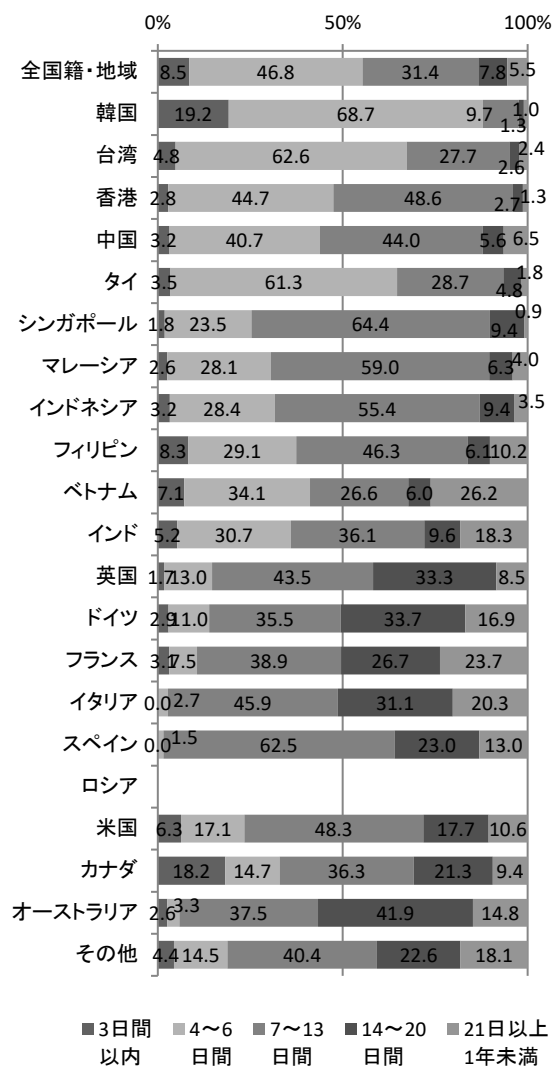


- 回答者全体の平均泊数は 9.5 泊である（図表 1-3）。
- 国籍・地域別にみると、ベトナムが 44.1 泊と長く、次いでインドが 22.0 泊、フランスが 18.7 泊となっている。一方、韓国、台湾、香港、タイ、シンガポール、インドネシア、カナダは 10 泊未満と、他の国籍・地域に比べて平均泊数が短い。
- 滞在日数の分布をみると、6 日間以内の短期滞在者が 5 割以上を占める（図表 1-4）。
- 国籍・地域別にみると、韓国で「3 日間以内」の割合が約 2 割と、他の国籍・地域に比べて高い。一方、ベトナム、フランス、イタリアでは 21 日以上の滞在者が 2 割超となっており、他の国籍・地域に比べて滞在日数が長い傾向がある。

図表 1-3 平均泊数（国籍・地域別、全目的）

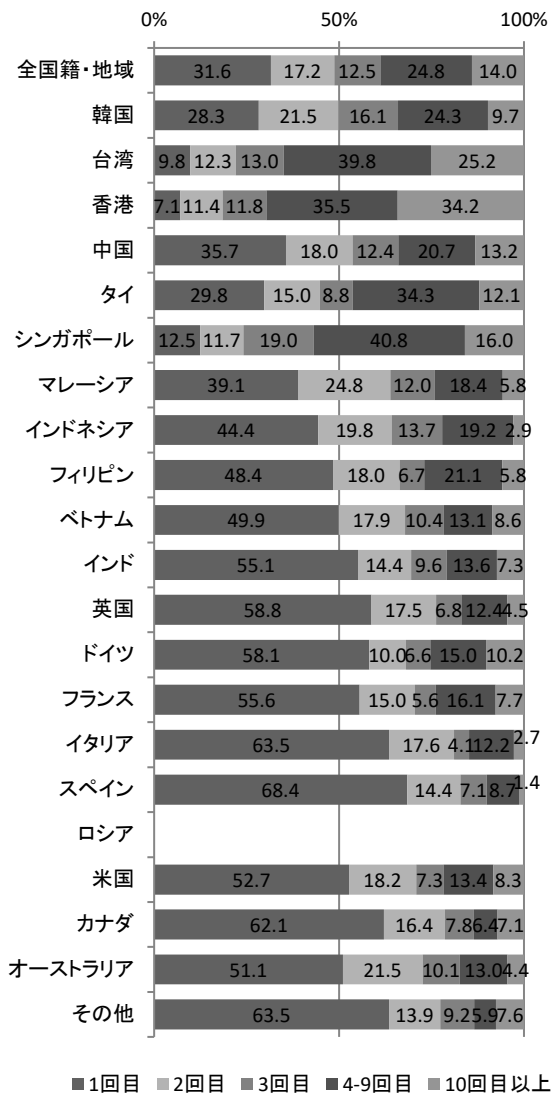


図表 1-4 滞在日数（国籍・地域別、全目的）

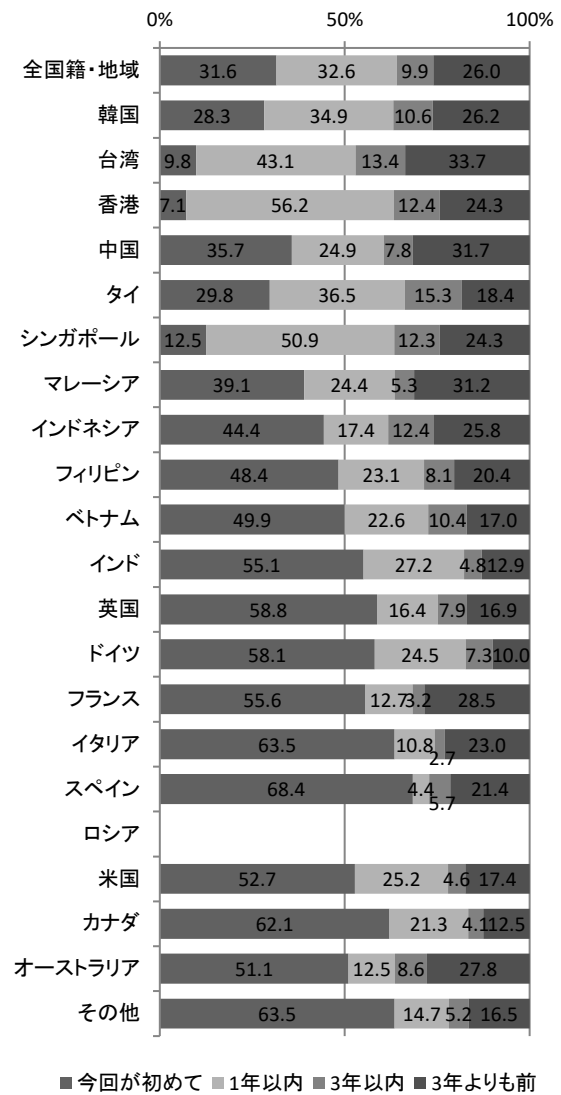


- 日本への来訪回数では、「1回目」が31.6%と最も多い。また、「4-9回目」が24.8%で次に多い（図表1-5）。
- 国籍・地域別では、イタリア、スペイン、カナダで「1回目」の割合が6割超と高い。一方、台湾、香港、シンガポールでは「1回目」の割合が約1割と他の国籍・地域に比べ低い。
- 前回の日本への来訪時期では、「今回が初めて」を除くと、「1年以内」が32.6%と最も多い（図表1-6）。
- 国籍・地域別では、香港、シンガポールの「1年以内」の割合が5割超と他の国籍・地域に比べ突出して高い。

図表 1-5 来訪回数（国籍・地域別、全目的）

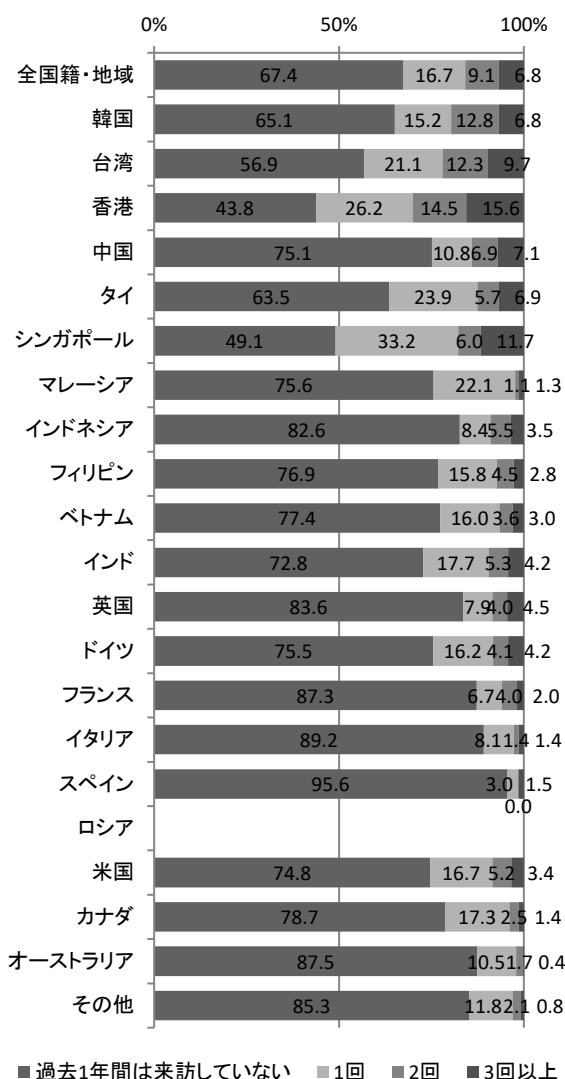


図表 1-6 前回の日本への来訪時期（国籍・地域別、全目的）

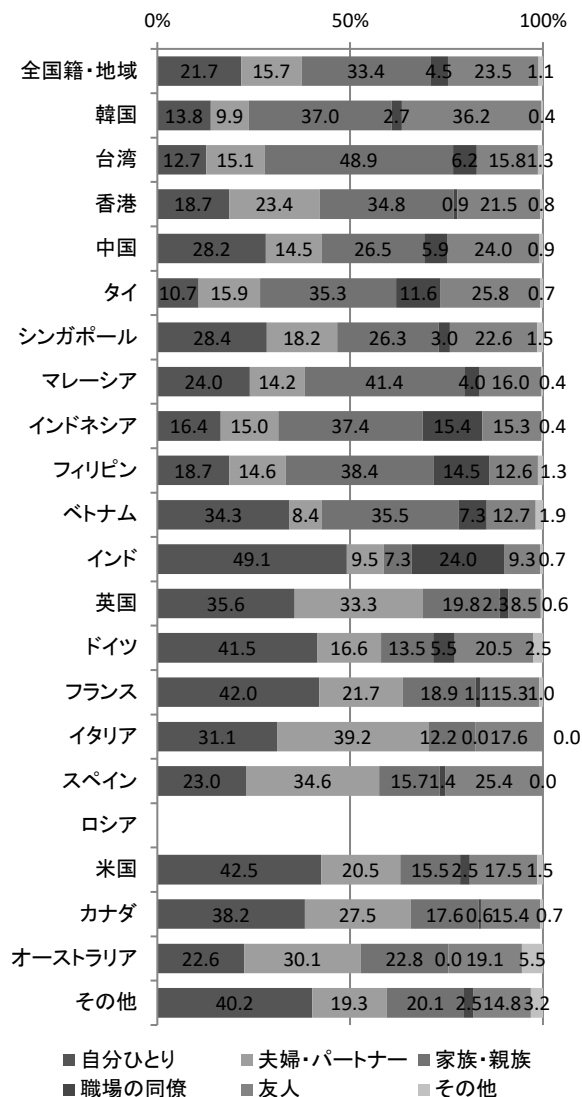


- 過去1年間の日本への来訪回数（今回を除く）では、「過去1年間は来訪していない」（0回）が67.4%を占める（図表1-7）。
- 国籍・地域別にみると、過去1年間に2回以上日本を訪れている割合は、香港で約3割、韓国、台湾、シンガポールで約2割と、他の国籍・地域に比べて高い。
- 同行者は、「家族・親族」（33.4%）が最も多く、次いで「友人」（23.5%）、「自分ひとり」（21.7%）、「夫婦・パートナー」（15.7%）、「職場の同僚」（4.5%）の順となっている（図表1-8）。
- 国籍・地域別にみると、インド、ドイツ、フランス、米国で「自分ひとり」の割合が4割超と、他の国籍・地域に比べて高い。

図表 1-7 過去1年間の日本への来訪回数
（国籍・地域別、全目的）

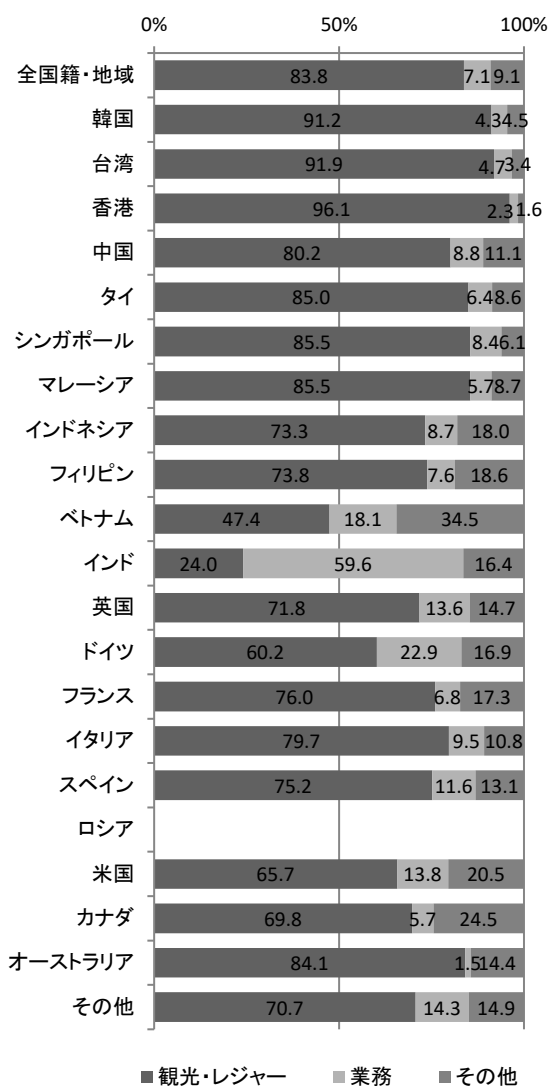


図表 1-8 同行者（国籍・地域別、全目的）

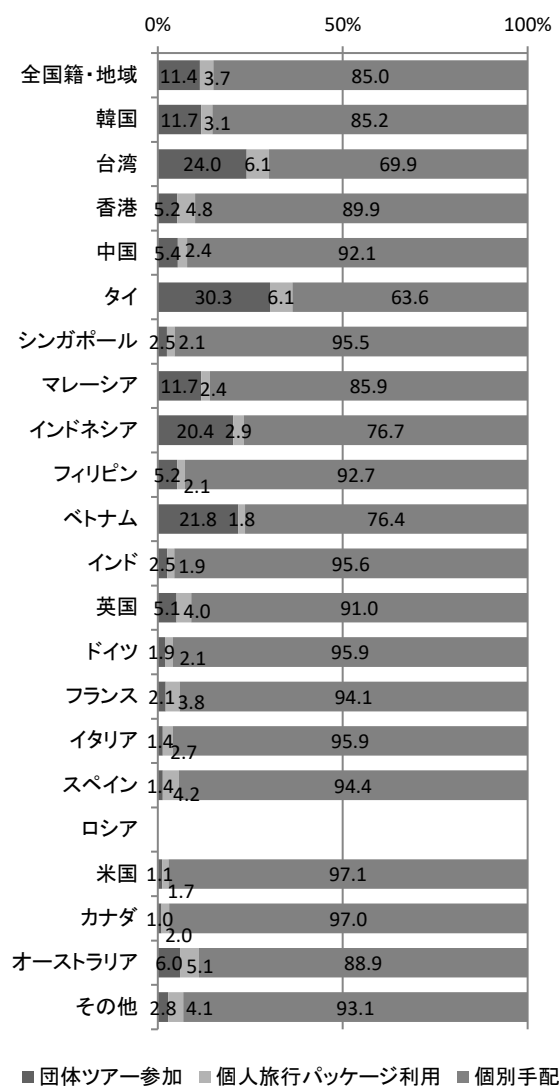


- 日本への主な来訪目的では「観光・レジャー」が全体の83.8%を占める。一方、「業務(展示会・見本市/国際会議/企業ミーティング/研修/その他ビジネス)」は全体の7.1%を占める(図表1-9)。
- 国籍・地域別では、「観光・レジャー」の割合が韓国、台湾、香港で9割超と高い。「業務」はインドで約6割と他の国籍・地域に比べ高い。
- 旅行手配方法では「旅行会社等が企画した団体ツアーに参加した(以下、団体ツアー参加)」が11.4%、「往復航空(船舶)券と宿泊等がセットになった個人旅行向けパッケージ商品を利用した(以下、個人旅行パッケージ利用)」が3.7%、「往復航空(船舶)券や宿泊等を個別に手配した(以下、個別手配)」が85.0%を占める(図表1-10)。

図表 1-9 主な来訪目的(国籍・地域別、全目的)

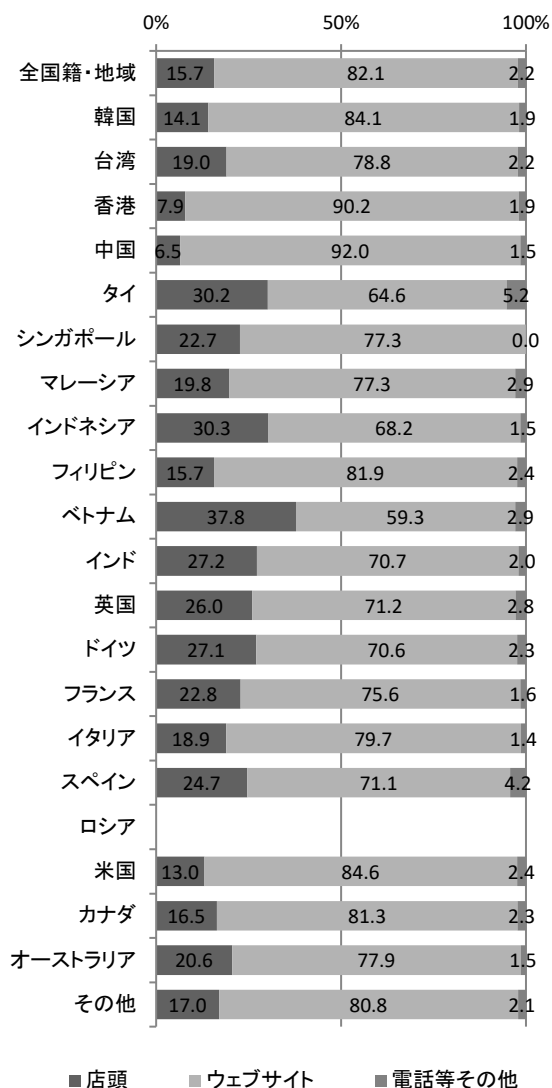


図表 1-10 旅行手配方法(国籍・地域別、全目的)



- ツアー商品や往復航空（船舶）券の**申込方法**では、「店頭（旅行会社や航空会社等）で申し込んだ（以下、**店頭**）」人の割合が全体の15.7%、「ウェブサイトから申し込んだ（以下、**ウェブサイト**）」人の割合が同82.1%を占める（図表1-11）。
- 国籍・地域別では、「店頭」の割合がタイ、インドネシア、ベトナムで3割超と高い。

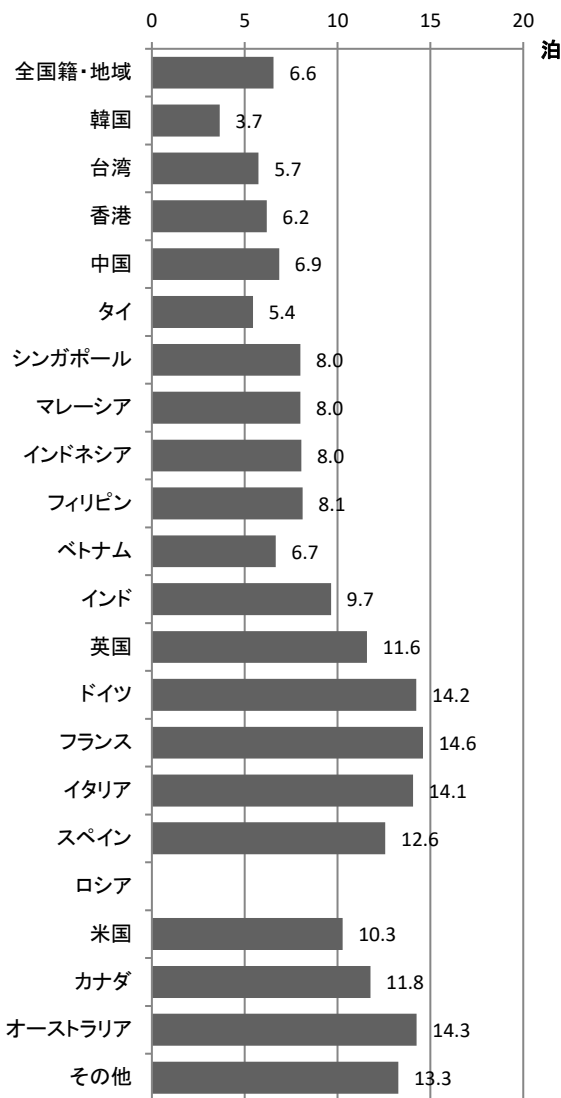
図表 1-11 申込方法（国籍・地域別、全目的）



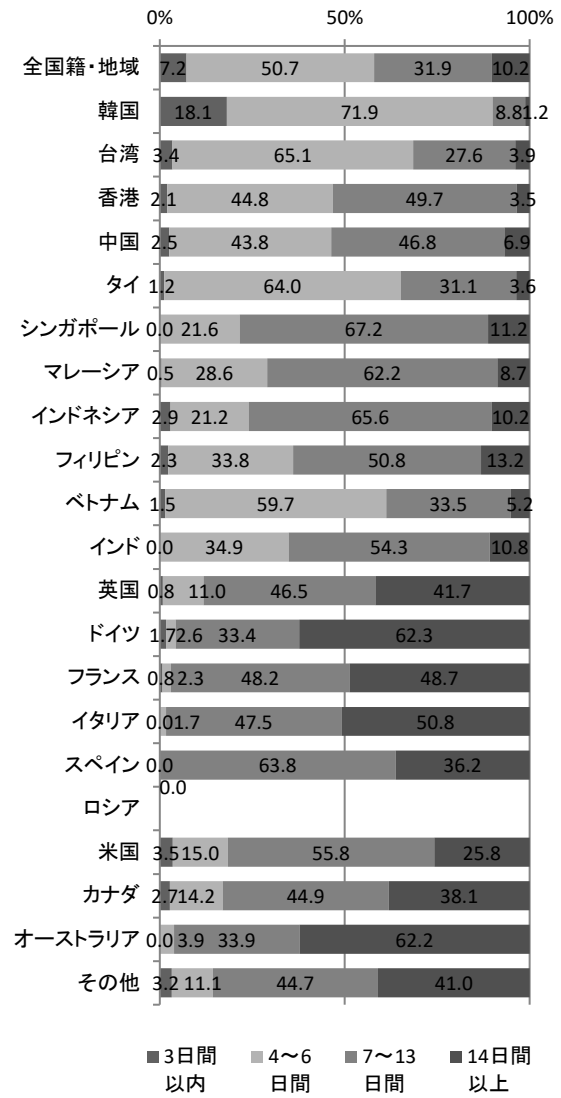
(2) 観光・レジャー目的

- 観光・レジャー目的で訪れた訪日外国人の平均泊数は6.6泊である(図表1-12)。
- 国籍・地域別にみると、ドイツ、フランス、イタリア、オーストラリアで平均泊数が長く、14泊以上となっている。
- 滞在日数では、「4～6日間」が50.7%を占める(図表1-13)。
- 国籍・地域別にみると、韓国では「3日間以内」が18.1%と他の国籍・地域に比べて多い。ドイツ、イタリア、オーストラリアでは「14日間以上」の割合がいずれも5割超と他の国籍・地域に比べ高い。

図表 1-12 平均泊数
(国籍・地域別、観光・レジャー目的)

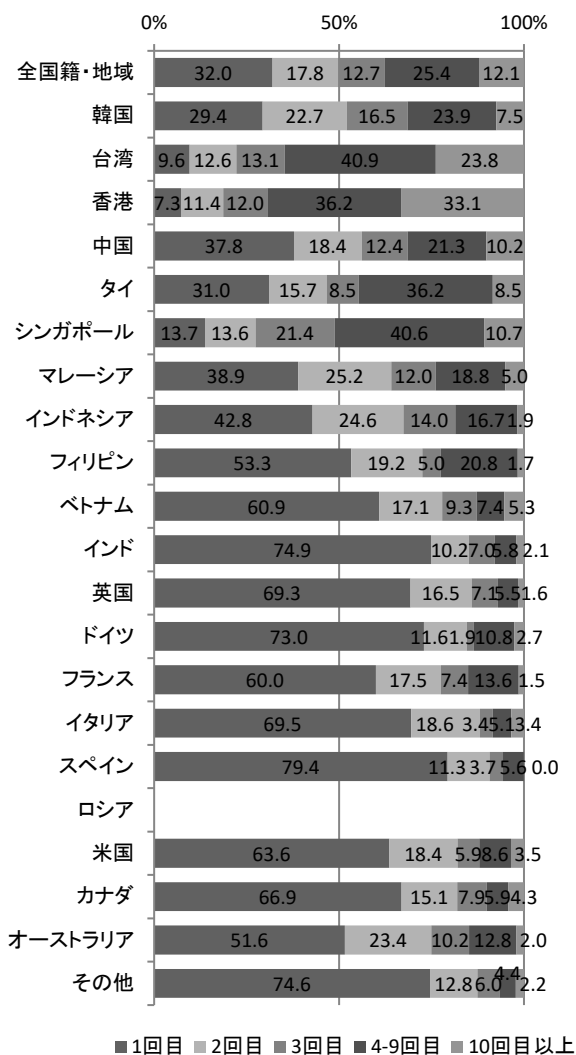


図表 1-13 滞在日数
(国籍・地域別、観光・レジャー目的)

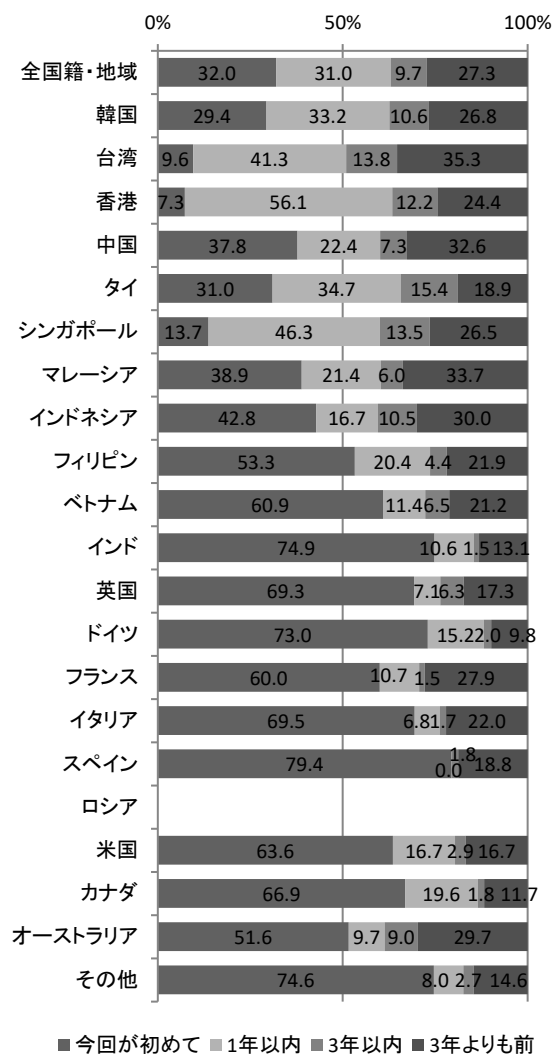


- 日本への来訪回数では、「1回目」が32.0%と最も多い（図表1-14）。
- 国籍・地域別では、「1回目」の割合がインド、ドイツ、スペインで7割超と他の国籍・地域に比べ高い。一方、香港、台湾では「10回目以上」の割合が2割超と他の国籍・地域に比べ高い。
- 前回の日本への来訪時期では、「今回が初めて」を除くと、「1年以内」が31.0%と最も多い（図表1-15）。
- 国籍・地域別では、台湾、香港、シンガポールの「1年以内」の割合が4割超と他の国籍・地域に比べ高い。

図表 1-14 来訪回数
(国籍・地域別、観光・レジャー目的)

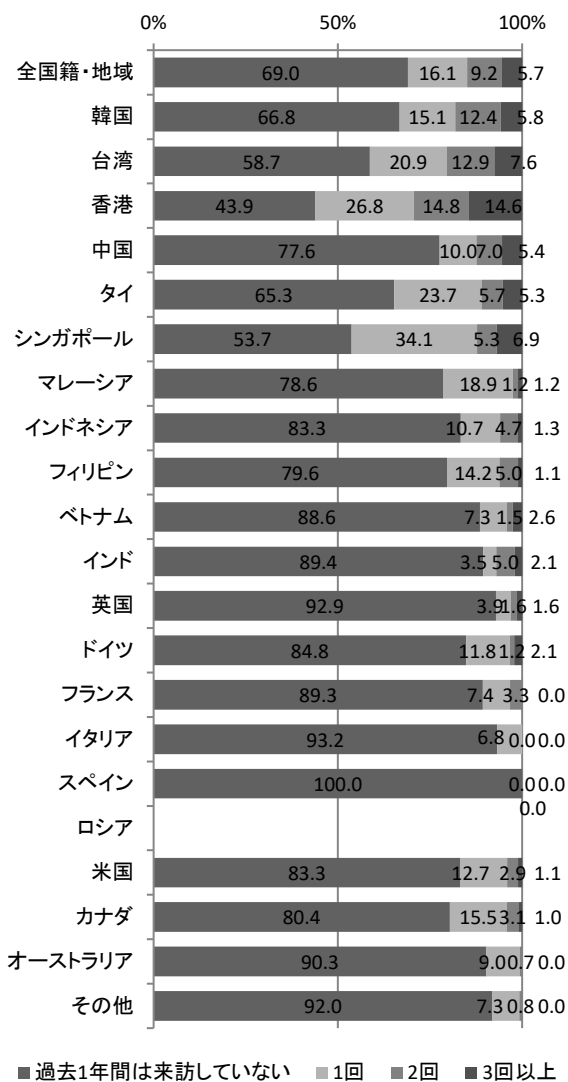


図表 1-15 前回の日本への来訪時期
(国籍・地域別、観光・レジャー目的)

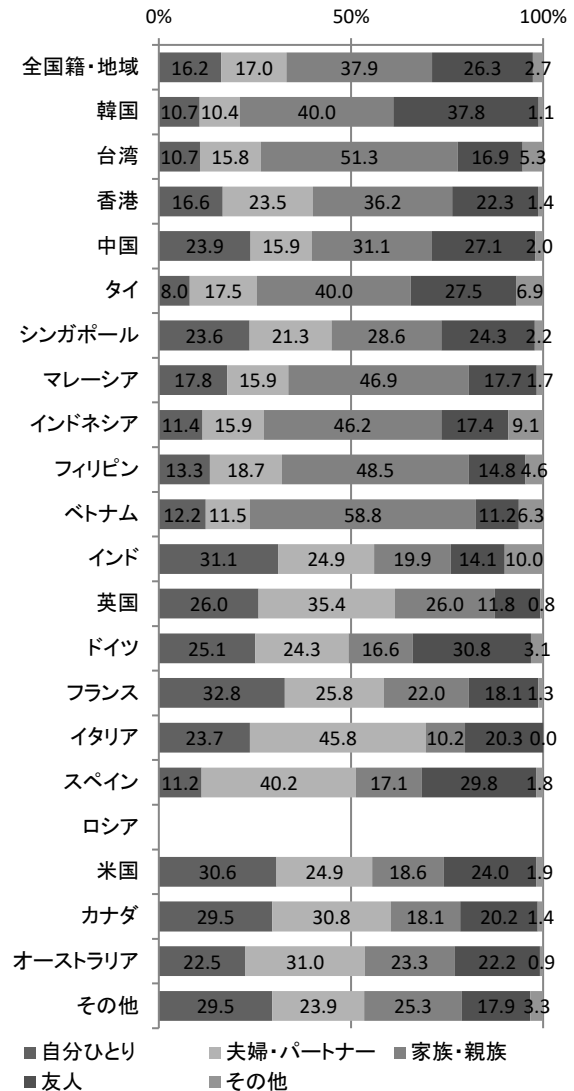


- 過去1年間の日本への来訪回数（今回を除く）では、「過去1年間は来訪していない」（0回）が69.0%を占める（図表1-16）。
- 国籍・地域別にみると、過去1年間に2回以上日本を訪れている割合は、香港が約3割、韓国、台湾が約2割と、他の国籍・地域に比べて高い。
- 同行者は「家族・親族」（37.9%）、「友人」（26.3%）、「夫婦・パートナー」（17.0%）、「自分ひとり」（16.2%）の順となっている（図表1-17）。
- 国籍・地域別では、台湾、ベトナムで「家族・親族」の割合が5割超と、他の国籍・地域に比べて高い。一方で、インド、フランス、米国では「自分ひとり」の割合が3割超となっている。

図表 1-16 過去1年間の日本への来訪回数
（国籍・地域別、観光・レジャー目的）

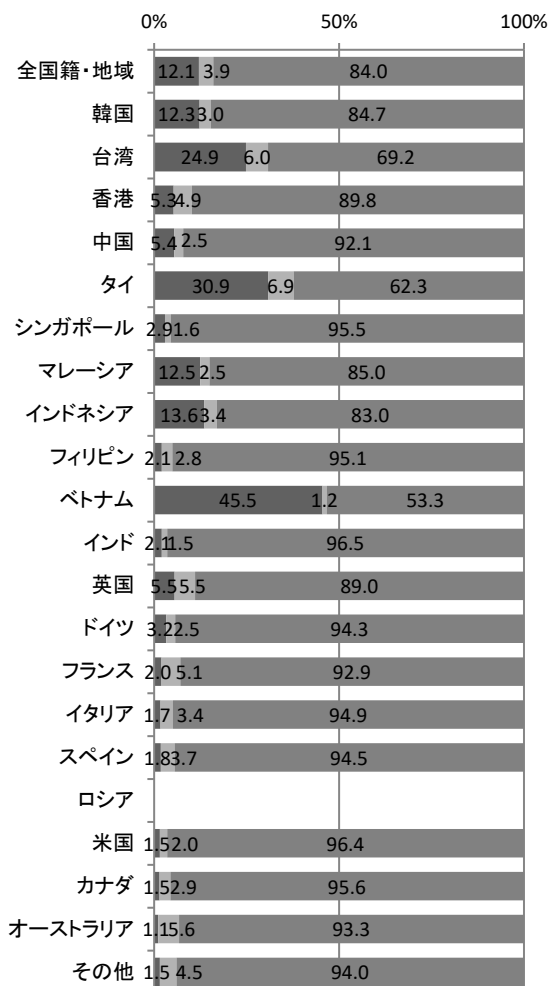


図表 1-17 同行者
（国籍・地域別、観光・レジャー目的）



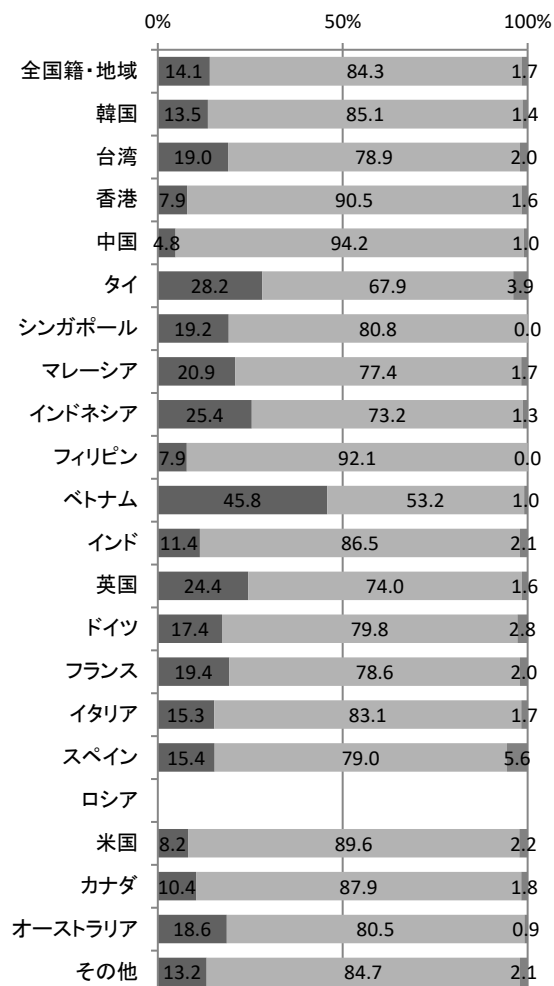
- 旅行手配方法では「団体ツアー参加」が12.1%、「個人旅行パッケージ利用」が3.9%、「個別手配」が84.0%を占める（図表 1-18）。
- 国籍・地域別では、「団体ツアー参加」の割合がベトナムで4割超、タイで約3割と他の国籍・地域に比べて高い。
- ツアー商品や往復航空（船舶）券の申込方法では、「店頭」の割合が14.1%、「ウェブサイト」の割合が84.3%を占める（図表 1-19）。
- 国籍・地域別では、タイ、マレーシア、インドネシア、ベトナム、英国の「店頭」の割合が2割超と他の国籍・地域に比べて高い。

図表 1-18 旅行手配方法
（国籍・地域別、観光・レジャー目的）



■ 団体ツアー参加 ■ 個人旅行パッケージ利用 ■ 個別手配

図表 1-19 申込方法
（国籍・地域別、観光・レジャー目的）



■ 店頭 ■ ウェブサイト ■ 電話等その他

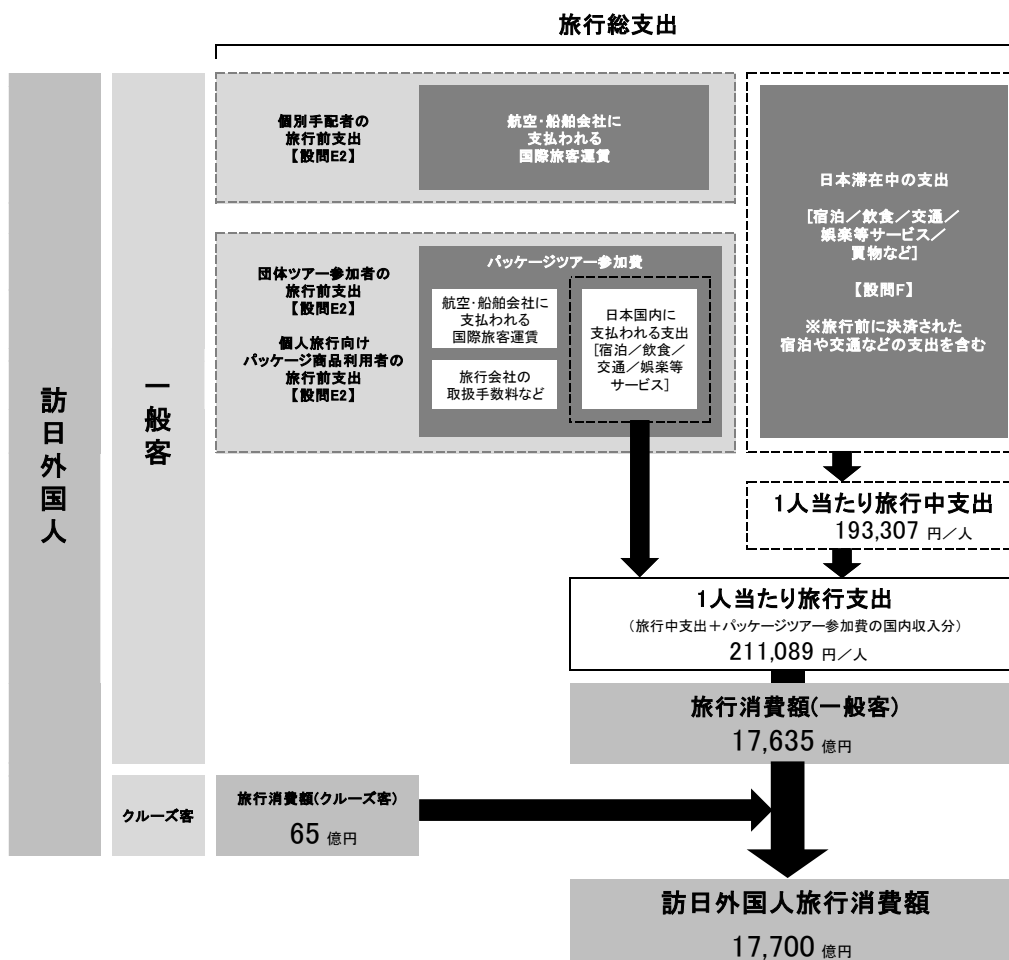
2. 訪日外国人の旅行支出

(1) 旅行支出の構造

- 本調査では、船舶観光上陸許可を得た訪日外国人をクルーズ客、これ以外の訪日外国人を一般客とする（図表 2-1）。
- 旅行前支出は旅行手配方法別に捉え方が異なる。団体ツアー参加者^{注1}及び個人旅行パッケージ利用者^{注2}についてはパッケージツアー参加費を旅行前支出として尋ねている。一方、個別手配者^{注3}については航空・船舶会社に支払われる国際旅客運賃を旅行前支出として尋ねている。
- 旅行中支出とは、日本滞在中の支出であり、宿泊費や飲食費、交通費、娯楽等サービス費、買物代など日本滞在中に支払ったすべての支出金額を尋ねている。

注1) 旅行会社等が企画した団体ツアーに参加した人
 注2) 往復航空（船舶）券と宿泊等がセットになった個人旅行向けパッケージ商品を利用した人
 注3) 往復航空（船舶）券や宿泊等を個別に手配した人

図表 2-1 訪日外国人消費動向調査における旅行支出の構造 概念図



- **パッケージツアー参加費**には、日本国内に支払われる支出（宿泊／飲食／交通／娯楽等サービス）や航空・船舶会社に支払われる国際旅客運賃などが含まれる。本調査では、このうち日本国内に支払われる支出（以下、国内収入分）を旅行中支出に加算することにより、一般客の旅行消費額（総額）を推計する。ただし、クルーズ客ではパッケージツアー参加費の国内収入分の加算は行わない。

(2) 旅行前支出

- 一般客における**団体ツアー**の購入者単価は1人当たり平均194,976円、**個人旅行パッケージ**の購入者単価は1人当たり平均194,879円であった（図表2-2）。

- **個別手配者**の国際旅客運賃（出発国から日本までの往復運賃）の購入者単価は一般客1人当たり平均98,699円であった。

(3) 旅行中支出

- 一般客が日本滞在中に支出した**旅行中支出**は1人当たり平均193,307円であった。旅行手配方法別では、**団体ツアー参加者**では1人当たり平均64,229円、**個人旅行パッケージ利用者**では1人当たり平均115,320円、**個別手配者**では1人当たり平均213,931円であった（図表2-3）。
- 旅行前支出と旅行中支出を合算した**旅行総支出**は、一般客1人当たり平均306,470円であった（図表2-4）。

図表 2-2 一般客1人当たり旅行前支出（旅行手配方法別）

【団体ツアー参加者】

国籍・地域	(%) (円/人)	
	団体ツアー参加率	団体ツアー購入者単価
全国籍・地域	11.4%	194,976
韓国	11.7%	120,470
台湾	24.0%	190,902
香港	5.2%	251,718
中国	5.4%	261,896
タイ	30.3%	201,122
シンガポール	2.5%	351,647
マレーシア	11.7%	281,077
インドネシア	20.4%	231,757
フィリピン	5.2%	175,631
ベトナム	21.8%	190,350
インド	2.5%	184,702
英国	5.1%	677,455
ドイツ	1.9%	659,291
フランス	2.1%	516,982
イタリア	1.4%	479,968
スペイン	1.4%	719,951
ロシア	-	-
米国	1.1%	506,953
カナダ	1.0%	461,524
オーストラリア	6.0%	565,992
その他	2.8%	267,490

【個人旅行パッケージ利用者】

国籍・地域	(%) (円/人)	
	個人旅行パッケージ利用率	個人旅行パッケージ購入者単価
全国籍・地域	3.7%	194,879
韓国	3.1%	142,348
台湾	6.1%	130,449
香港	4.8%	182,167
中国	2.4%	141,434
タイ	6.1%	208,349
シンガポール	2.1%	332,265
マレーシア	2.4%	289,966
インドネシア	2.9%	152,414
フィリピン	2.1%	205,810
ベトナム	1.8%	147,961
インド	1.9%	168,814
英国	4.0%	607,890
ドイツ	2.1%	369,028
フランス	3.8%	427,419
イタリア	2.7%	983,934
スペイン	4.2%	349,749
ロシア	-	-
米国	1.7%	385,406
カナダ	2.0%	270,806
オーストラリア	5.1%	432,108
その他	4.1%	324,781

【個別手配者】

国籍・地域	(%) (円/人)	
	個別手配比率	国際旅客運賃購入者単価
全国籍・地域	85.0%	98,699
韓国	85.2%	49,071
台湾	69.9%	81,368
香港	89.9%	78,154
中国	92.1%	68,144
タイ	63.6%	100,957
シンガポール	95.5%	102,840
マレーシア	85.9%	111,063
インドネシア	76.7%	106,949
フィリピン	92.7%	79,723
ベトナム	76.4%	93,063
インド	95.6%	163,096
英国	91.0%	213,855
ドイツ	95.9%	210,251
フランス	94.1%	185,270
イタリア	95.9%	188,188
スペイン	94.4%	158,277
ロシア	-	-
米国	97.1%	217,762
カナダ	97.0%	187,851
オーストラリア	88.9%	181,360
その他	93.1%	196,784

図表 2-3 一般客 1 人当たり旅行中支出（国籍・地域別）

国籍・地域	(円/人)				b.平均泊数	(円/人泊)			
	a.旅行中支出	団体ツアー参加者	個人旅行パッケージ利用者	個別手配者		c.1泊当たり旅行中支出 (=a/b)	団体ツアー参加者	個人旅行パッケージ利用者	個別手配者
全国籍・地域	193,307	64,229	115,320	213,931	9.5	20,446	15,113	20,659	20,735
韓国	92,168	35,181	35,754	102,018	4.9	18,729	12,135	12,035	19,362
台湾	148,319	74,597	92,631	178,516	6.2	23,914	18,426	21,771	25,100
香港	242,989	95,743	129,398	257,646	7.0	34,884	18,247	23,937	36,038
中国	284,901	101,604	257,696	296,444	12.3	23,242	17,771	47,396	23,115
タイ	135,448	63,223	158,611	167,634	6.8	19,950	16,140	28,418	20,261
シンガポール	288,346	49,052	162,983	297,271	8.8	32,918	7,334	30,430	33,449
マレーシア	201,728	85,527	62,621	221,423	10.9	18,584	16,704	4,864	19,119
インドネシア	190,314	105,097	272,534	209,833	8.4	22,574	19,790	31,051	22,695
フィリピン	178,449	45,856	144,633	186,673	14.0	12,783	8,916	25,823	12,748
ベトナム	226,080	50,058	70,751	279,908	44.1	5,130	11,937	13,424	4,967
インド	210,282	112,253	35,626	216,354	22.0	9,556	3,662	8,674	9,777
英国	338,501	198,093	131,985	355,329	11.6	29,071	13,928	10,153	31,058
ドイツ	273,093	126,841	139,165	279,021	16.8	16,242	6,873	12,923	16,497
フランス	304,701	69,973	76,344	319,263	18.7	16,336	7,748	6,946	16,646
イタリア	280,571	111,992	57,996	289,215	18.0	15,599	8,615	5,272	15,844
スペイン	339,135	233,718	66,076	352,961	17.1	19,796	25,969	6,190	20,122
ロシア	-	-	-	-	-	-	-	-	-
米国	290,474	62,627	152,030	295,605	11.9	24,332	7,059	17,091	24,576
カナダ	244,426	110,360	231,079	246,135	9.9	24,664	5,518	20,021	25,197
オーストラリア	330,510	36,050	181,448	359,046	13.9	23,789	4,013	14,594	25,089
その他	271,932	59,661	147,838	283,825	15.6	17,408	6,539	13,537	17,711

図表 2-4 一般客 1 人当たり旅行総支出（国籍・地域別）

国籍・地域	(円/人)				b.平均泊数	(円/人泊)			
	a.旅行総支出	団体ツアー参加者	個人旅行パッケージ利用者	個別手配者		c.1泊当たり旅行総支出 (=a/b)	団体ツアー参加者	個人旅行パッケージ利用者	個別手配者
全国籍・地域	306,470	259,204	310,199	312,630	9.5	32,415	60,989	55,571	30,301
韓国	152,449	155,652	178,102	151,089	4.9	30,978	53,687	59,951	28,676
台湾	258,993	265,499	223,080	259,884	6.2	41,758	65,581	52,429	36,540
香港	335,235	347,461	311,565	335,800	7.0	48,127	66,220	57,636	46,970
中国	365,371	363,500	399,130	364,588	12.3	29,807	63,577	73,410	28,429
タイ	273,309	264,346	366,960	268,590	6.8	40,256	67,482	65,748	32,464
シンガポール	402,100	400,699	495,248	400,111	8.8	45,904	59,911	92,467	45,021
マレーシア	336,961	366,604	352,586	332,486	10.9	31,042	71,601	27,387	28,709
インドネシア	324,000	336,854	424,947	316,782	8.4	38,431	63,431	48,416	34,263
フィリピン	265,792	221,486	350,444	266,397	14.0	19,040	43,064	62,568	18,193
ベトナム	341,326	240,408	218,712	372,971	44.1	7,745	57,329	41,496	6,619
インド	374,035	296,955	204,439	379,451	22.0	16,998	9,686	49,777	17,147
英国	591,512	875,548	739,875	569,184	11.6	50,799	61,562	56,913	49,749
ドイツ	495,456	786,132	508,193	489,272	16.8	29,468	42,599	47,190	28,927
フランス	506,228	586,956	503,763	504,533	18.7	27,140	64,993	45,835	26,305
イタリア	494,209	591,960	1,041,930	477,403	18.0	27,477	45,535	94,721	26,154
スペイン	513,302	953,669	415,825	511,238	17.1	29,962	105,963	38,955	29,145
ロシア	-	-	-	-	-	-	-	-	-
米国	514,421	569,580	537,436	513,367	11.9	43,091	64,198	60,418	42,681
カナダ	436,778	571,884	501,885	433,986	9.9	44,074	28,594	43,485	44,427
オーストラリア	547,841	602,042	613,556	540,406	13.9	39,432	67,021	49,350	37,762
その他	475,942	327,151	472,619	480,609	15.6	30,467	35,859	43,277	29,991

(4) 旅行支出の推計

- 一般客の旅行支出及び旅行消費額は、訪日外国人が日本国内で支払った旅行中支出に、パッケージツアー参加費に含まれる宿泊費や飲食費、交通費などの国内収入分（以下、パッケージ内訳）を加算することにより推計する。
- 今期のパッケージ内訳は1人当たり平均17,782円と推計される（図表2-5）。
- 旅行中支出にパッケージ内訳を加えた今期の旅行支出は1人当たり平均211,089円と推計され、今期の一般客の旅行消費額は1兆7,635億円と推計される。
- これにクルーズ客の旅行消費額65億円を加算し、2024年1-3月期の訪日外国人旅行消費額は1兆7,700億円と推計される。

図表2-5 訪日外国人1人当たり旅行支出と訪日外国人旅行消費額の推移

年	月	一般客					クルーズ客			訪日外国人旅行消費額				
		a. 日本国内での旅行中支出 (パッケージ内訳を含まない)		b. パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分 (パッケージ内訳)		c. 旅行支出 (パッケージ内訳を含む) (=a+b)	d. 一般客数	e. 旅行消費額 (=c×d)	f. 旅行中支出	g. クルーズ客数	h. 旅行消費額 (=f×g)	k. 訪日外国人旅行消費額 (=e+h)		
		(円/人)	(円/人)	(円/人)	(人)	(億円)	(人)	(億円)	(円/人)	(人)	(億円)	(億円)		
暦年	2019年	137,948	-	20,583	-	158,531	-	29,855,742	47,331	39,710	2,026,307	805	48,135	-
	2023年 注4	193,120	+40.0%	19,644	-4.6%	212,764	+34.2%	24,899,890	52,978	52,437	166,460	87	53,065	+10.2%
	2024年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
四半期	2019年1-3月期	130,034	-	17,379	-	147,413	-	7,693,723	11,342	48,631	360,074	175	11,517	-
	2019年4-6月期	134,203	-	20,764	-	154,967	-	8,050,409	12,475	37,244	529,408	197	12,673	-
	2019年7-9月期	140,952	-	21,907	-	162,860	-	7,093,271	11,552	38,473	690,935	266	11,818	-
	2019年10-12月期	147,883	-	22,551	-	170,434	-	7,018,339	11,962	37,352	445,890	167	12,128	-
	2023年1-3月期	195,383	+50.3%	15,657	-9.9%	211,040	+43.2%	4,787,169	10,103	-	-	-	10,103	-12.3%
	2023年4-6月期	188,233	+40.3%	20,432	-1.6%	208,665	+34.7%	5,903,493	12,319	-	-	-	12,319	-2.8%
	2023年7-9月期	191,123	+35.6%	18,105	-17.4%	209,228	+28.5%	6,578,491	13,764	44,253	83,835	37	13,801	+16.8%
	2023年10-12月期	197,203	+33.4%	22,863	+1.4%	220,066	+29.1%	7,630,737	16,793	63,237	60,891	39	16,831	+38.8%
	2024年1-3月期	193,307	+48.7%	17,782	+2.3%	211,089	+43.2%	8,354,418	17,635	31,947	204,065	65	17,700	+53.7%

注1) パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分は、パッケージツアーに参加していない個人手配者(参加費0円)も含めた全体平均の値である。
 注2) 訪日外客数(日本政府観光局、暫定値)からクルーズ客数を控除した値。
 注3) 船舶観光上陸許可を得た訪日外国人の人数(法務省「出入国管理統計」)
 注4) 新型コロナウイルス感染症の影響により、2023年のクルーズ調査は7-9月期および10-12月期のみ実施した。そのため、2023年1-3月期、4-6月期については、2023年7-9月期と10-12月期の1人当たり旅行支出の平均値を用い、1人当たり旅行支出に各期のクルーズ客数を乗じて消費額を算出し、四半期の消費額を積み上げ、年間のクルーズ客の旅行消費額を算出した。よって、年間値は参考値である。

【一般客の旅行消費額の推計方法（パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分の加算）】

一般客のパッケージツアー参加費には、「出発国から日本までの往復運賃」に加え、日本に支払われる「宿泊費」「飲食費」「交通費」「娯楽等サービス費」が含まれているものと仮定する。これらの費目のうち、「出発国から日本までの往復運賃」を除く費目の支出を、日本国内に支払われる支出（国内収入分）とみなす。

一般客の旅行消費額は、「旅行中支出」に「パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分」の金額を加算することにより推計する。パッケージツアー参加費の内訳は、観光・レジャー目的の個人手配者の旅行支出における費目別構成比を用いて配分した。なお、この配分は国籍・地域毎（20市場と「その他の国籍・地域」の21区分）に行っている。

なお、本報告書で推計している訪日外国人旅行消費額には、日本の航空会社及び船舶会社に支払われる国際旅客運賃（往復運賃）が含まれない点に留意されたい。

- 一般客の旅行消費額を国籍・地域別にみると、①中国3,526億円(構成比20.0%)、②台湾2,595億円(同14.7%)、③韓国2,416億円(同13.7%)、④米国1,687億円(同9.6%)、⑤香港1,583億円(同9.0%)の順となっている(図表2-6)。
- 前述の上位5ヶ国・地域合計で1兆1,807億円(構成比66.9%)を占める。エリア別では、東アジア4ヶ国・地域(韓国、台湾、香港、中国)合計で10,120億円(同57.4%)、東南アジア6ヶ国(タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム)合計で2,340億円(同13.3%)、欧州5ヶ国(英国、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン)合計で1,012億円(同5.7%)となっている。

図表2-6 一般客1人当たり旅行支出と旅行消費額(国籍・地域別)

2024年1-3月期 国籍・地域	a. 日本国内での 旅行中支出 (パッケージ内訳を含まない)		b. パッケージ ツアー参加費 に含まれる 国内収入分 (パッケージ内訳)		c. 旅行支出 (パッケージ内訳を含む) (=a+b)		d. 一般客数 (クルーズ客を除く)		e. 旅行消費額 (クルーズ客を除く) (=c×d)		
	(円/人)		(円/人)		(円/人)		(人)		(億円)		
		2019年比	注1		2019年比		注2	2019年比		構成比	2019年比
全国籍・地域	193,307	+48.7%	17,782	211,089	+43.2%	8,354,418	+8.6%	17,635	100.0%	+55.5%	
韓国	92,168	+42.1%	11,153	103,320	+40.1%	2,337,897	+12.4%	2,416	13.7%	+57.5%	
台湾	148,319	+37.8%	31,693	180,012	+37.9%	1,441,586	+23.9%	2,595	14.7%	+70.8%	
香港	242,989	+71.2%	14,410	257,399	+56.2%	614,980	+22.7%	1,583	9.0%	+91.6%	
中国	284,901	+48.8%	12,146	297,046	+36.0%	1,187,149	-36.5%	3,526	20.0%	-13.7%	
タイ	135,448	+21.8%	41,888	177,336	+34.8%	323,503	-6.9%	574	3.3%	+25.4%	
シンガポール	288,346	+77.8%	10,427	298,773	+77.2%	131,788	+43.1%	394	2.2%	+153.5%	
マレーシア	201,728	+62.3%	24,349	226,078	+69.3%	133,776	+13.4%	302	1.7%	+91.9%	
インドネシア	190,314	+75.0%	32,849	223,163	+79.7%	116,844	+21.0%	261	1.5%	+117.5%	
フィリピン	178,449	+98.5%	8,658	187,107	+92.5%	200,359	+68.7%	375	2.1%	+224.7%	
ベトナム	226,080	+46.0%	26,188	252,267	+38.6%	172,131	+40.4%	434	2.5%	+94.7%	
インド	210,282	+58.1%	4,077	214,359	+52.4%	49,766	+27.3%	107	0.6%	+94.0%	
英国	338,501	+101.7%	35,707	374,208	+101.2%	101,599	+29.9%	380	2.2%	+161.3%	
ドイツ	273,093	+48.9%	11,858	284,951	+51.9%	67,389	+36.7%	192	1.1%	+107.6%	
フランス	304,701	+76.3%	15,720	320,422	+82.5%	70,733	+14.1%	227	1.3%	+108.3%	
イタリア	280,571	+90.6%	18,261	298,832	+93.5%	38,398	+43.6%	115	0.7%	+177.9%	
スペイン	339,135	+115.6%	16,363	355,498	+107.5%	27,621	+56.1%	98	0.6%	+223.9%	
ロシア	-	-	-	-	-	16,698	-27.9%	-	-	-	
米国	290,474	+88.4%	7,116	297,590	+76.7%	566,833	+55.7%	1,687	9.6%	+175.2%	
カナダ	244,426	+66.7%	6,091	250,517	+55.6%	122,410	+51.2%	307	1.7%	+135.4%	
オーストラリア	330,510	+42.8%	36,336	366,845	+49.4%	252,429	+48.9%	926	5.3%	+122.5%	
その他	271,932	+56.5%	11,591	283,523	+59.1%	380,529	+40.5%	1,079	6.1%	+123.6%	

注1) パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分は、パッケージツアーに参加していない個人手配者(参加費0円)も含めた全体平均の値である。

注2) 訪日外客数(日本政府観光局、暫定値)からクルーズ客数を控除した値。

(5) 費目別にみる旅行支出

- 一般客の費目別旅行支出（パッケージ内訳を含む）を国籍・地域別にみると、「宿泊費」は英国（1人当たり平均16.2万円）、「飲食費」「交通費」はスペイン（それぞれ8.9万円、7.0万円）、「娯楽等サービス費」はオーストラリア（同4.4万円）、「買物代」は中国（同13.3万円）が最も高い（図表2-7）。

- 一般客の費目別旅行消費額（パッケージ内訳を含む）を国籍・地域別にみると、「宿泊費」「交通費」「買物代」は中国（それぞれ860億円、289億円、1,575億円）、「飲食費」「娯楽等サービス費」は韓国（それぞれ645億円、236億円）が最も高くなっている。（図表2-8）。

図表2-7 費目別にみる一般客1人当たり旅行支出（国籍・地域別）

国籍・地域	【費目別旅行支出】						
	旅行支出総額	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等サービス費	買物代	その他
全国籍・地域	211,089	68,449	45,502	22,268	13,035	61,759	76
韓国	103,320	31,917	27,576	8,833	10,091	24,898	9
台湾	180,012	55,142	38,448	16,637	10,199	59,524	62
香港	257,399	75,523	54,151	23,075	8,670	95,489	490
中国	297,046	72,405	52,350	24,337	15,256	132,649	49
タイ	177,336	52,875	42,797	21,835	8,053	51,428	348
シンガポール	298,773	98,382	64,154	33,875	16,241	86,121	0
マレーシア	226,078	77,171	47,719	30,495	11,937	58,755	0
インドネシア	223,163	71,157	41,864	36,342	10,439	63,158	204
フィリピン	187,107	53,221	36,614	20,103	12,015	65,155	0
ベトナム	252,267	84,813	62,937	22,128	16,346	66,043	0
インド	214,359	88,931	40,672	28,463	4,854	51,439	0
英国	374,208	162,424	82,345	47,137	22,569	59,734	0
ドイツ	284,951	118,874	66,899	42,383	11,817	44,979	0
フランス	320,422	128,969	72,366	45,169	14,184	59,733	0
イタリア	298,832	116,067	72,490	50,137	9,756	50,382	0
スペイン	355,498	126,165	88,930	69,980	14,208	56,215	0
ロシア	-	-	-	-	-	-	-
米国	297,590	129,045	64,380	38,681	17,616	47,869	0
カナダ	250,517	101,011	54,763	34,675	17,576	42,492	0
オーストラリア	366,845	154,899	73,708	46,184	43,705	48,204	146
その他	283,523	101,841	63,980	42,545	15,575	59,582	0

図表2-8 費目別にみる一般客の旅行消費額（国籍・地域別）

国籍・地域	【費目別旅行消費額】							【費目別旅行消費額 構成比】(ヨコ計100%)					
	消費額総額	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等サービス費	買物代	その他	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等サービス費	買物代	その他
全国籍・地域	17,635	5,719	3,801	1,860	1,089	5,160	6	32.4%	21.6%	10.5%	6.2%	29.3%	0.0%
韓国	2,416	746	645	207	236	582	0	30.9%	26.7%	8.5%	9.8%	24.1%	0.0%
台湾	2,595	795	554	240	147	858	1	30.6%	21.4%	9.2%	5.7%	33.1%	0.0%
香港	1,583	464	333	142	53	587	3	29.3%	21.0%	9.0%	3.4%	37.1%	0.2%
中国	3,526	860	621	289	181	1,575	1	24.4%	17.6%	8.2%	5.1%	44.7%	0.0%
タイ	574	171	138	71	26	166	1	29.8%	24.1%	12.3%	4.5%	29.0%	0.2%
シンガポール	394	130	85	45	21	113	0	32.9%	21.5%	11.3%	5.4%	28.8%	0.0%
マレーシア	302	103	64	41	16	79	0	34.1%	21.1%	13.5%	5.3%	26.0%	0.0%
インドネシア	261	83	49	42	12	74	0	31.9%	18.8%	16.3%	4.7%	28.3%	0.1%
フィリピン	375	107	73	40	24	131	0	28.4%	19.6%	10.7%	6.4%	34.8%	0.0%
ベトナム	434	146	108	38	28	114	0	33.6%	24.9%	8.8%	6.5%	26.2%	0.0%
インド	107	44	20	14	2	26	0	41.5%	19.0%	13.3%	2.3%	24.0%	0.0%
英国	380	165	84	48	23	61	0	43.4%	22.0%	12.6%	6.0%	16.0%	0.0%
ドイツ	192	80	45	29	8	30	0	41.7%	23.5%	14.9%	4.1%	15.8%	0.0%
フランス	227	91	51	32	10	42	0	40.2%	22.6%	14.1%	4.4%	18.6%	0.0%
イタリア	115	45	28	19	4	19	0	38.8%	24.3%	16.8%	3.3%	16.9%	0.0%
スペイン	98	35	25	19	4	16	0	35.5%	25.0%	19.7%	4.0%	15.8%	0.0%
ロシア	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
米国	1,687	731	365	219	100	271	0	43.4%	21.6%	13.0%	5.9%	16.1%	0.0%
カナダ	307	124	67	42	22	52	0	40.3%	21.9%	13.8%	7.0%	17.0%	0.0%
オーストラリア	926	391	186	117	110	122	0	42.2%	20.1%	12.6%	11.9%	13.1%	0.0%
その他	1,079	388	243	162	59	227	0	35.9%	22.6%	15.0%	5.5%	21.0%	0.0%

(6) 来訪目的別にみる旅行支出

- 来訪目的別に一般客の旅行支出（パッケージ内訳を含む）をみると、「観光・レジャー」は1人当たり平均202,854円、「業務」は同247,431円、「その他」は同258,634円となっている（図表2-9）。

図表2-9 来訪目的別にみる一般客1人当たり旅行支出（主要国籍・地域別）

主な来訪目的		観光・レジャー	業務 注1	その他 注2	MICE 関連 注3 (再掲)
旅行支出 (円/人)	全国籍・地域	202,854	247,431	258,634	216,932
	韓国	97,824	80,832	235,925	78,421
	台湾	180,350	168,649	186,781	142,548
	香港	247,761	640,102	293,696	417,421
	中国	279,521	325,089	401,804	260,026
	米国	308,970	289,017	266,815	324,509

【参考】

一般客目的別 構成比 (%) ヨコ計=100	全国籍・地域	83.8	7.1	9.1	4.2
	韓国	91.2	4.3	4.5	2.7
	台湾	91.9	4.7	3.4	3.1
	香港	96.1	2.3	1.6	1.2
	中国	80.2	8.8	11.1	6.3
	米国	65.7	13.8	20.5	5.3

回答数注4	全国籍・地域	6,404	864	1,043	462
	韓国	813	36	37	23
	台湾	678	31	22	20
	香港	652	16	10	8
	中国	863	90	118	62
	米国	956	201	297	77

注1)「業務」は、主な来訪目的が「展示会・見本市」「国際会議」「企業ミーティング」「研修」「その他ビジネス」の回答の集計結果である。

注2)「その他」は、主な来訪目的が「親族・知人訪問」「ハネムーン」「学校関連の旅行」「スポーツ・スポーツ観戦」「イベント」「留学」「治療・検診」「インセンティブツアー」「トランジット」「その他」の回答の集計結果である。

注3)「MICE関連」は、主な来訪目的が「イベント」「インセンティブツアー」「展示会・見本市」「国際会議」「企業ミーティング」「研修」の回答の集計結果である。

注4) 回答数の少ない数値については取り扱いに留意されたい。

(7) クルーズ客の旅行中支出

- クルーズ客の旅行中支出は1人当たり平均31,947円であった（図表2-10）。
- 費目別にみると、「買物代」が1人当たり平均29,705円、「飲食費」が同1,605円などとなっている（図表2-11）。
- クルーズ客の旅行消費額は65億円と推計される。費目別では、「買物代」が61億円、「飲食費」が3億円などとなっている（図表2-12）。

図表2-10 クルーズ客1人当たり旅行中支出と旅行消費額（国籍・地域別）

国籍・地域	a. 旅行中支出 (円/人)	b. クルーズ客数 (人)		c. 旅行消費額 (=a×b) (億円)
		注1	2019年比	
全国籍・地域	31,947	204,065	-43.3%	65
中国	33,667	140,927	-52.8%	47
その他注2	28,110	63,138	+2.2%	18

注1) 船舶観光上陸許可を受けて日本に特例上陸した外国人の人数(法務省「出入国管理統計」)

注2) 国籍・地域毎で標本サイズが不十分な場合は「その他」国籍に統合している。

図表2-11 クルーズ客1人当たり費目別旅行中支出（国籍・地域別）

国籍・地域	【費目別旅行中支出】 (円/人)						
	総額	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等 サービス 費	買物代	その他
全国籍・地域	31,947	0	1,605	291	345	29,705	2
中国	33,667	0	1,036	111	135	32,385	0
その他	28,110	0	2,875	691	815	23,722	7

図表2-12 クルーズ客費目別旅行消費額（国籍・地域別）

国籍・地域	【費目別旅行消費額】 (億円)						
	総額	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等 サービス 費	買物代	その他
全国籍・地域	65	0	3	1	1	61	0
中国	47	0	1	0	0	46	0
その他	18	0	2	0	1	15	0

3. 土産品の購入実態

(1) 費目別購入率

- 費目別の購入率（その費目を購入した人の割合）は「菓子類」（72.6%）、「その他食料品・飲料・たばこ」（44.3%）、「衣類」（41.7%）の順で高い（図表 3-1）。
- 国籍・地域別で最も購入率が高い費目は、韓国、台湾、香港、中国で「菓子類」（それぞれ 84.3%、78.7%、69.2%、76.9%）、米国で「その他食料品・飲料・たばこ」（54.0%）となっている。

(2) 費目別購入者単価

- 費目別の購入者単価（その費目を購入した人における当該費目の1人当たり平均支出）は、「時計・フィルムカメラ」が9.5万円で最も高い（図表 3-1）。
- 国籍・地域別では、中国における「時計・フィルムカメラ」（25.3万円）、「宝石・貴金属」（22.5万円）、「靴・かばん・革製品」（12.1万円）が他の国籍・地域に比べ高い。

図表 3-1 買物代の費目別購入率および購入者単価（主要国籍・地域別、全目的）

費目	全国籍・地域		韓国		台湾		香港		中国		米国	
	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)
菓子類	72.6%	11,082	84.3%	6,850	78.7%	11,831	69.2%	19,377	76.9%	13,635	49.9%	11,323
酒類	24.3%	9,470	37.3%	6,872	19.4%	8,591	16.4%	13,196	13.1%	14,841	30.4%	11,144
生鮮農産物	5.0%	10,738	1.0%	5,806	8.4%	6,697	10.5%	5,454	7.1%	25,824	5.2%	4,744
その他食料品・飲料・たばこ	44.3%	12,383	39.0%	5,812	39.0%	9,484	36.0%	12,476	41.8%	16,546	54.0%	13,233
化粧品・香水	28.3%	22,376	20.9%	8,854	30.1%	16,053	35.7%	25,396	50.3%	41,308	14.4%	16,104
医薬品	28.9%	11,580	35.6%	5,394	49.1%	16,496	33.7%	12,040	38.2%	15,813	4.6%	3,855
健康グッズ・トイレタリー	10.5%	14,310	6.0%	11,492	22.5%	15,763	13.5%	14,803	14.7%	17,563	3.4%	6,713
衣類	41.7%	29,873	24.6%	17,432	47.2%	22,446	56.8%	51,911	41.2%	52,498	46.8%	25,664
靴・かばん・革製品	22.7%	50,963	11.3%	28,627	28.8%	35,535	34.3%	59,145	27.6%	121,441	14.6%	24,655
電気製品	5.5%	39,179	1.0%	43,566	8.7%	21,417	4.7%	61,740	8.4%	56,916	5.1%	35,145
時計・フィルムカメラ	2.0%	94,934	0.4%	11,093	1.6%	40,616	1.4%	60,874	3.3%	253,304	1.8%	71,423
宝石・貴金属	1.7%	72,860	0.6%	55,435	1.0%	52,693	1.5%	41,229	2.3%	224,829	4.0%	23,532
民芸品・伝統工芸品	7.6%	14,765	4.5%	5,141	5.7%	4,822	7.3%	36,673	6.1%	32,199	17.8%	16,177
本・雑誌・ガイドブックなど	5.3%	7,568	3.4%	4,060	4.3%	4,094	4.2%	9,962	5.4%	9,693	10.2%	9,831
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	4.1%	18,707	2.3%	10,930	2.3%	5,875	4.2%	24,932	7.1%	25,545	6.0%	23,448
その他買物代	10.2%	25,219	9.1%	8,726	10.9%	30,708	5.7%	27,352	10.8%	41,106	13.7%	27,286

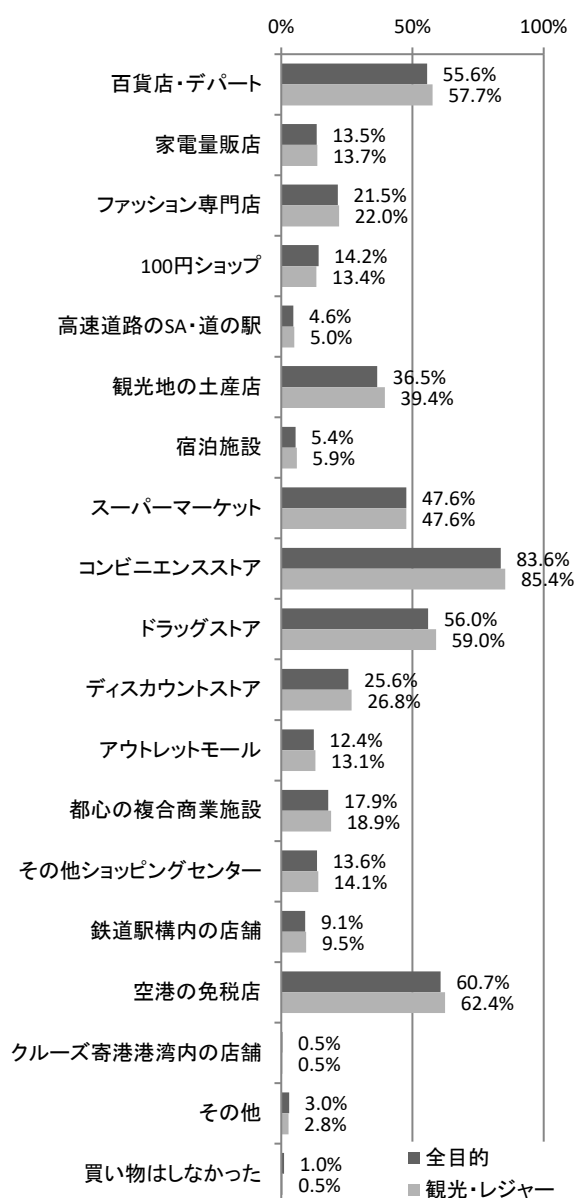
図表 3-2 買物代の費目別購入率および購入者単価（主要国籍・地域別、観光・レジャー目的）

費目	全国籍・地域		韓国		台湾		香港		中国		米国	
	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)
菓子類	75.2%	10,220	86.7%	6,737	79.0%	11,901	69.5%	15,403	77.6%	11,625	54.1%	10,809
酒類	25.1%	8,941	38.5%	6,541	19.6%	7,982	16.3%	12,829	12.3%	13,582	32.2%	11,035
生鮮農産物	5.0%	6,776	1.0%	5,517	8.8%	4,442	10.2%	5,268	6.4%	13,980	5.5%	3,226
その他食料品・飲料・たばこ	43.9%	10,262	39.4%	4,986	39.6%	9,120	35.4%	11,235	40.9%	12,946	56.7%	13,358
化粧品・香水	29.6%	21,492	21.0%	8,139	31.5%	16,150	36.4%	25,418	52.0%	39,660	15.8%	15,673
医薬品	31.5%	11,444	37.4%	5,396	51.2%	16,666	34.2%	11,657	38.2%	15,905	5.7%	2,997
健康グッズ・トイレタリー	11.2%	13,829	6.0%	12,151	22.9%	14,053	14.0%	14,803	15.0%	17,979	3.7%	7,374
衣類	43.2%	29,819	25.3%	17,661	49.4%	22,056	57.7%	51,499	42.6%	54,097	51.7%	26,986
靴・かばん・革製品	24.3%	52,952	11.5%	29,523	30.4%	35,480	35.1%	59,849	29.6%	130,440	17.0%	26,307
電気製品	5.6%	36,617	0.9%	47,969	9.3%	21,176	4.7%	62,362	8.5%	50,626	5.8%	36,939
時計・フィルムカメラ	2.0%	74,314	0.4%	7,897	1.7%	40,616	1.4%	60,874	3.2%	169,830	2.4%	61,275
宝石・貴金属	1.7%	65,524	0.7%	55,435	1.1%	52,693	1.4%	44,414	2.4%	195,712	5.1%	20,996
民芸品・伝統工芸品	7.7%	13,134	4.5%	4,781	6.0%	4,899	7.2%	23,621	6.9%	26,092	18.5%	17,270
本・雑誌・ガイドブックなど	5.3%	6,553	3.3%	3,384	4.5%	3,821	3.7%	8,735	5.8%	8,379	11.1%	7,577
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	4.2%	18,968	2.1%	10,579	2.3%	5,638	4.4%	24,932	7.7%	24,886	7.4%	25,678
その他買物代	10.7%	21,097	9.6%	8,404	11.7%	30,602	5.6%	26,486	12.6%	17,373	15.5%	21,996

(3) 買物場所

- 買物場所は「コンビニエンスストア」(83.6%)、「空港の免税店」(60.7%)、「ドラッグストア」(56.0%)、「百貨店・デパート」(55.6%)、「スーパーマーケット」(47.6%)の順で高い(図表3-3)。

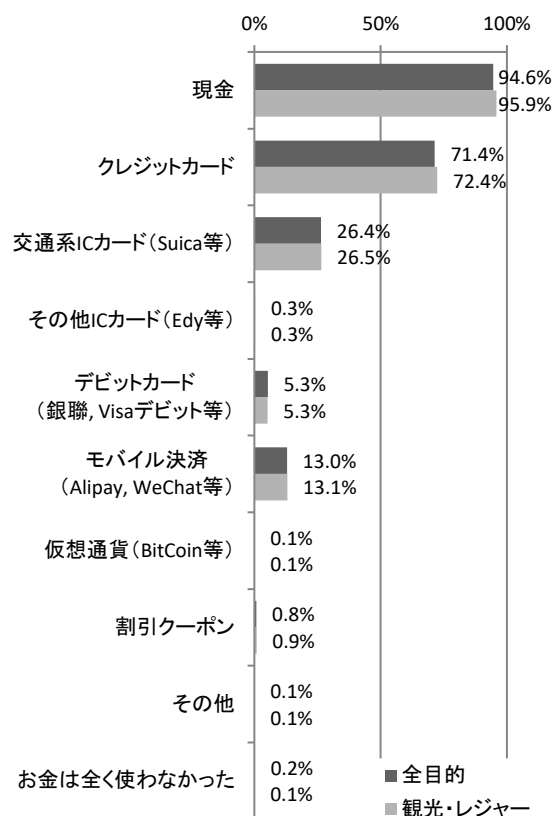
図表 3-3 買物場所
(全国籍・地域、複数回答)



(4) 利用した決済方法

- 利用した決済方法は「現金」(94.6%)が最も高く、次いで「クレジットカード」(71.4%)、「交通系ICカード」(26.4%)、「モバイル決済」(13.0%)、「デビットカード」(5.3%)の順で高くなっている(図表3-4)。

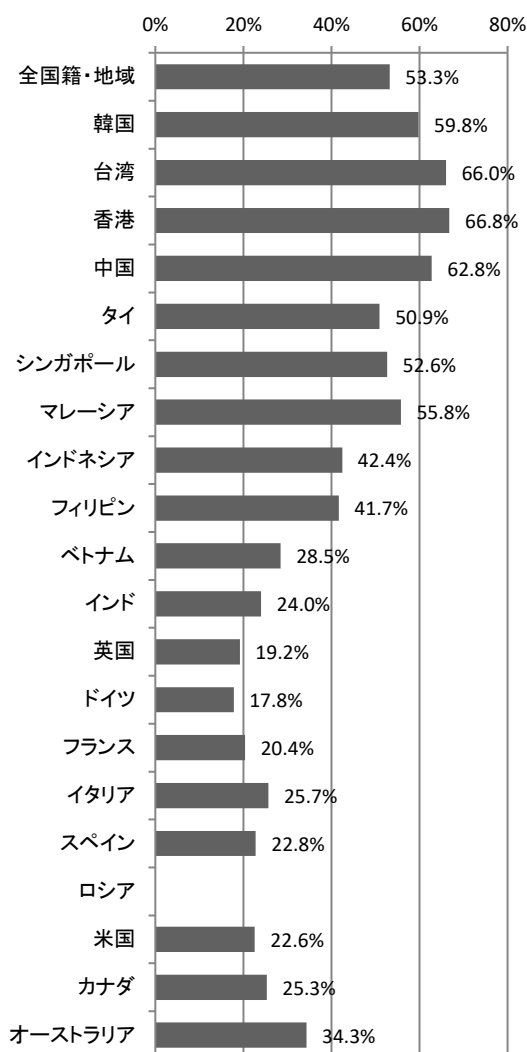
図表 3-4 利用した決済方法
(全国籍・地域、複数回答)



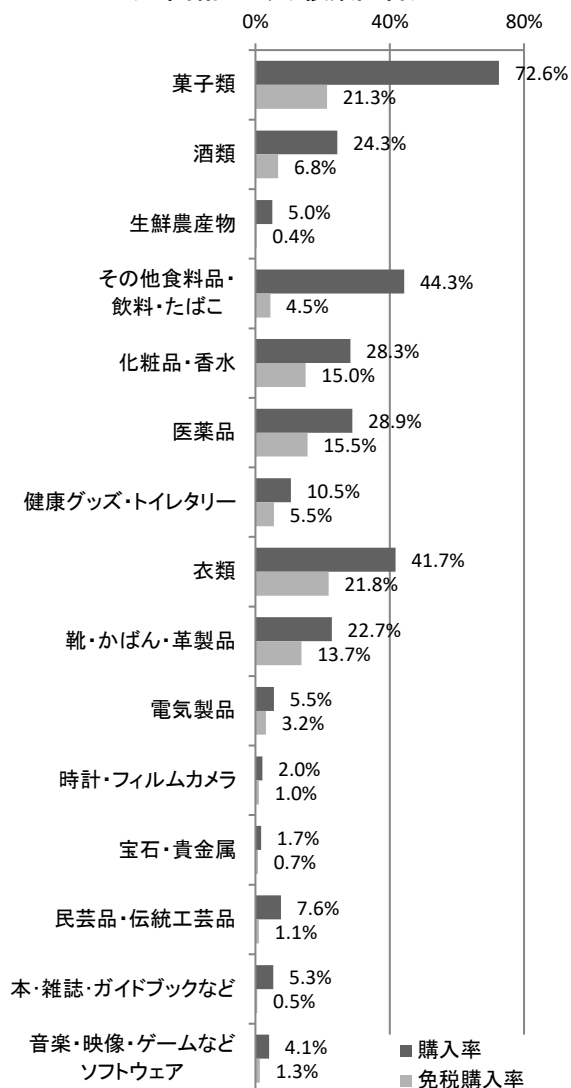
(5) 消費税免税手続きの実施状況

- 今回の日本滞在中に消費税免税手続きを実施した人の割合は全体の 53.3%である (図表 3-5)。
- 国籍・地域別にみると、台湾、香港、中国で6割超と高い。一方、ベトナム、インド、英国、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、米国、カナダでは3割未満と他の国籍・地域に比べて低い。
- 買物代の費目別に、消費税免税手続きをして当該費目を購入した人の割合 (費目別の免税購入率、分母は一般客全体) をみると、「衣類」(21.8%) が最も高く、「菓子類」(21.3%)、「医薬品」(15.5%)、「化粧品・香水」(15.0%) の順で高くなっている (図表 3-6)。

図表 3-5 消費税免税手続きの実施率 (国籍・地域別)



図表 3-6 費目別購入率と費目別の免税購入率 (全国籍・地域、複数回答)



4. 満足度と再訪意向

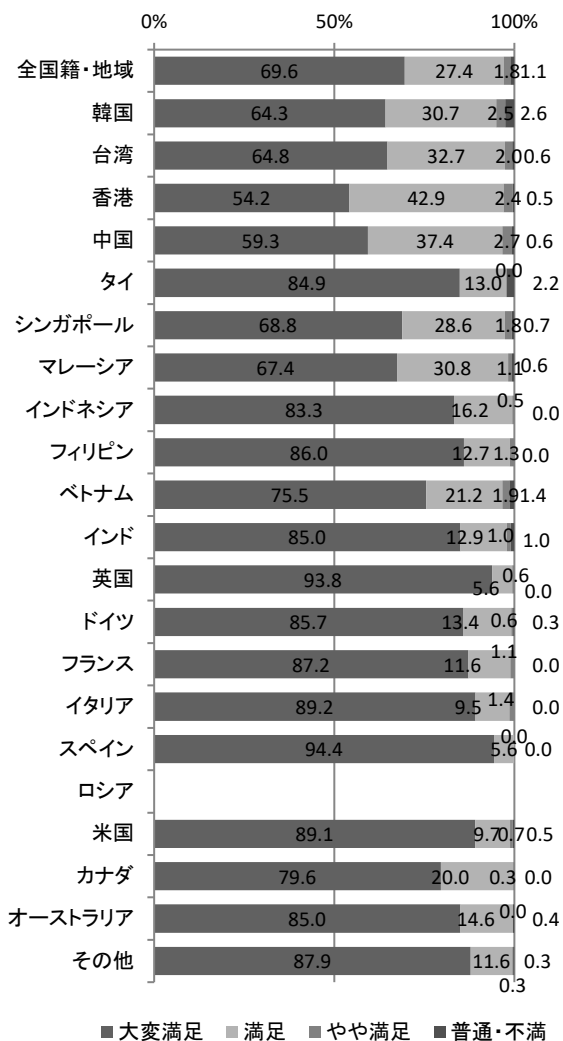
(1) 訪日旅行全体の満足度

- 今回の訪日旅行全体の満足度は「大変満足」69.6%、「満足」27.4%である（図表4-1）。
- 国籍・地域別では、タイ、インドネシア、フィリピン、インド、英国、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、米国、オーストラリアで「大変満足」の割合が8割超と高い。

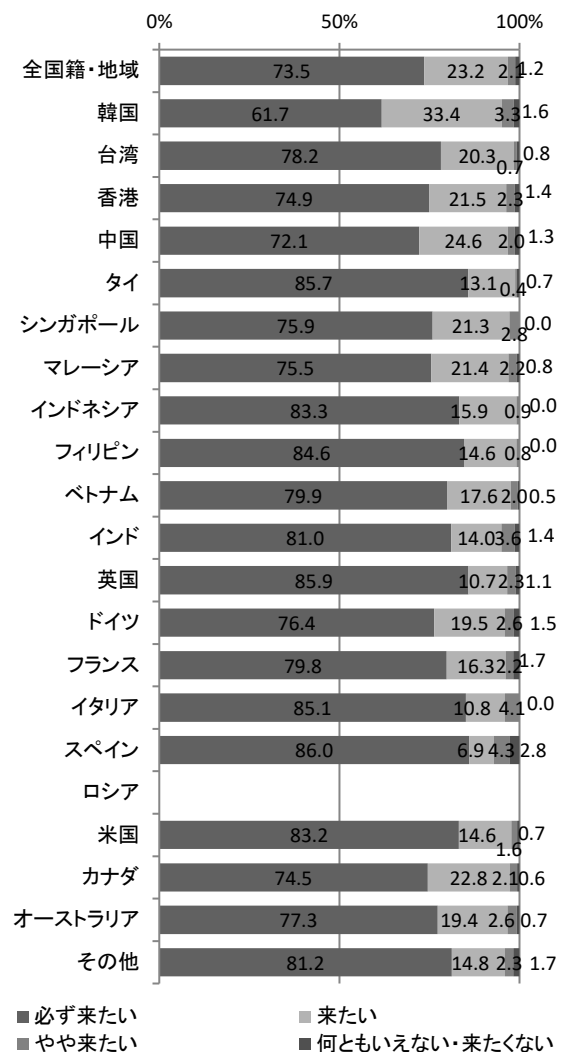
(2) 日本への再訪意向

- 日本への再訪意向では、「必ず来たい」が73.5%、「来たい」が23.2%である（図表4-2）。
- 国籍・地域別では、タイ、インドネシア、フィリピン、インド、英国、イタリア、スペイン、米国で「必ず来たい」の割合が8割超と高い。

図表 4-1 訪日旅行全体の満足度（国籍・地域別）



図表 4-2 日本への再訪意向（国籍・地域別）



(3) 最も満足した購入商品

- 最も満足した購入商品をみると、「菓子類」(23.3%)、「衣類」(15.9%)、「靴・かばん・革製品」(9.0%)の順で高い(図表4-3)。
- 満足した理由をみると、「菓子類」では「美味しい」に加え「お土産に良い・頼まれた」とする回答が多かった。「衣類」では「品質が良い」、「靴・かばん・革製品」では「価格が手頃・自国より安い」とする回答が最も多かった。

図表 4-3 最も満足した購入商品とその理由 (全国籍・地域)

商品区分	【最も満足した購入商品】 (自由記入による単一回答)	【満足した理由】(複数回答)												
		美味しい	品質が良い	自国で入手が難しい	価格が手頃・自国より安い	日本製	伝統的・日本独特	好きなブランド・商品である	デザインが良い・かわいい	人気がある・有名	お土産に良い・頼まれた	便利だから	その他	
菓子類	23.3	79.6	27.6	15.4	12.7	18.0	7.2	9.9	6.9	18.0	32.5	1.4	0.1	
酒類	5.7	58.2	29.7	26.2	30.8	23.9	17.1	19.0	3.5	16.0	21.0	0.6	0.1	
生鮮農産物	1.7	92.1	53.3	11.6	22.0	16.0	4.7	5.2	2.0	5.2	4.0	1.1	0.0	
その他食料品・飲料・たばこ	6.3	74.4	34.8	27.7	18.5	26.4	16.3	10.4	4.1	18.5	20.5	5.7	0.3	
化粧品・香水	6.5	0.0	54.4	13.8	46.3	36.9	4.6	32.6	9.9	16.3	11.5	2.0	0.1	
医薬品	5.4	0.0	72.9	23.8	31.4	29.6	1.5	9.6	0.9	20.7	13.5	5.1	0.3	
健康グッズ・トイレットリー	0.4	0.0	62.4	22.1	39.1	18.1	8.6	11.5	11.2	9.4	14.6	26.7	0.0	
衣類	15.9	0.0	56.0	15.3	43.1	18.9	6.7	27.3	46.0	8.4	4.9	3.6	0.6	
靴・かばん・革製品	9.0	0.0	45.1	11.4	49.8	11.6	2.1	41.8	39.9	9.2	2.5	2.2	0.3	
電気製品	1.8	0.0	60.1	11.9	55.7	32.8	2.3	17.8	16.2	7.4	2.3	7.7	0.0	
時計・フィルムカメラ	1.2	0.0	67.6	18.7	41.1	49.4	4.7	32.9	35.5	13.7	6.2	2.4	0.0	
宝石・貴金属	0.1	0.0	32.1	7.3	31.8	23.3	6.7	0.0	65.1	6.7	7.6	6.7	0.0	
民芸品・伝統工芸品	2.2	0.0	28.1	30.6	12.8	46.3	53.6	5.4	52.7	7.0	22.2	1.5	0.0	
本・雑誌・ガイドブックなど	0.8	0.0	19.0	58.0	30.6	30.5	26.1	16.8	33.3	29.4	9.6	7.4	1.9	
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	0.4	0.0	23.2	49.4	33.4	33.9	9.2	24.0	10.7	23.1	10.0	0.0	0.0	
その他買物代	19.1	0.0	35.0	32.5	23.9	28.8	17.3	30.5	48.5	18.8	12.1	2.4	0.2	
その他	0.2	0.0	36.2	30.1	29.5	37.4	59.4	19.8	37.9	29.4	0.0	30.9	0.0	
全体	100.0	28.1	41.5	20.8	29.3	23.8	10.4	21.8	25.3	15.2	15.7	2.8	0.3	

(4) 最も満足した飲食

- 最も満足した飲食をみると、「肉料理」(31.9%)、「ラーメン」(19.3%)、「寿司」(14.5%)の順で高い(図表4-4)。
- 満足した理由をみると、全体的に「美味しい」が高く、特に「肉料理」では「好きな料理・食品である」、「ラーメン」では「人気がある・有名」、「寿司」では「食材が新鮮」などの選択率が「全体」と比べて高くなった。

図表 4-4 最も満足した飲食とその理由 (全国籍・地域)

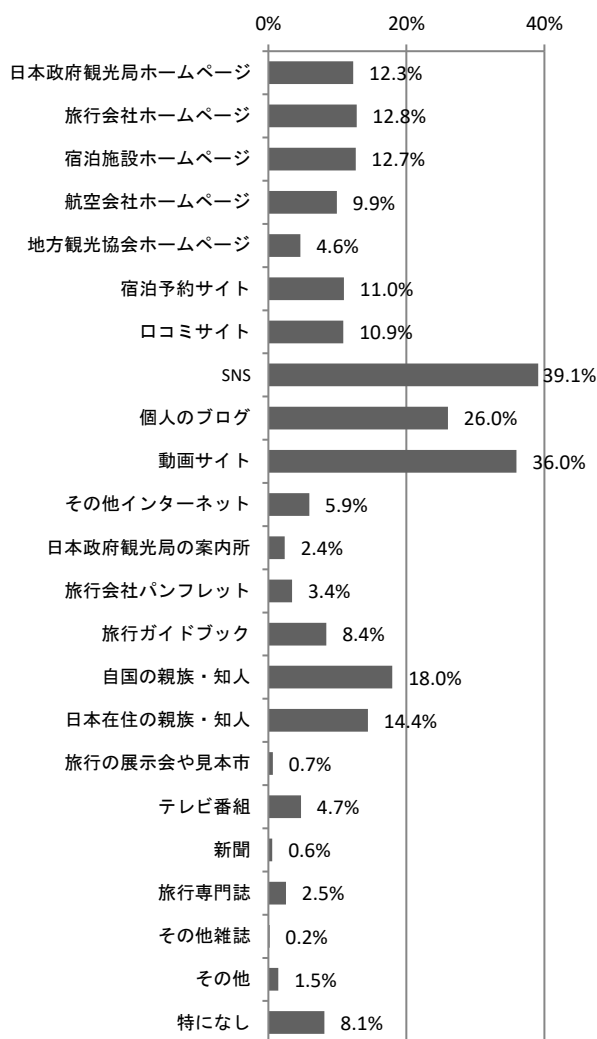
飲食区分	【最も満足した飲食】 (自由記入による単一回答)	【満足した理由】(複数回答)												
		美味しい	食材が新鮮	自国で味わうことができない	価格が手頃・自国より安い	量や種類が適切	伝統的・日本独特	好きな料理・食品である	盛り付けの見た目が良い	人気がある・有名	健康に良い	店のサービスや雰囲気	その他	
寿司	14.5	93.8	71.3	14.8	21.6	9.7	23.6	20.6	6.6	11.3	8.9	10.0	0.0	
ラーメン	19.3	94.3	29.8	19.4	20.0	9.3	23.9	19.7	5.4	15.9	3.1	9.3	0.1	
そば・うどん	4.4	93.5	28.6	25.6	16.9	11.4	25.8	16.3	7.1	8.1	6.1	11.2	0.1	
肉料理	31.9	94.7	44.6	19.0	18.6	10.4	18.1	23.2	6.4	14.2	2.1	12.2	0.2	
魚料理	9.9	91.2	65.1	19.4	16.7	9.1	19.6	19.4	8.8	9.8	5.2	8.5	0.1	
小麦粉料理	3.4	93.3	25.5	31.9	15.9	8.6	37.1	21.5	4.4	12.8	1.9	9.9	0.4	
その他日本料理	5.4	95.0	39.6	24.3	17.7	14.1	37.7	19.4	19.3	10.4	6.6	13.6	0.2	
外国の料理	0.6	89.3	21.4	7.6	21.1	5.8	4.2	20.7	4.9	4.4	4.0	14.6	2.5	
その他料理	5.3	93.6	33.4	19.8	14.6	13.3	19.0	16.4	9.9	8.5	4.7	10.7	0.4	
菓子類	2.4	96.6	21.0	26.0	13.8	7.0	19.3	17.0	15.2	9.6	1.3	8.6	0.0	
果物	0.7	91.9	80.4	22.8	22.8	4.1	5.1	15.9	0.6	5.1	4.1	0.0	0.0	
酒	1.0	89.7	29.7	31.1	30.4	11.1	36.1	17.8	2.0	20.2	2.9	8.9	0.0	
その他食料品・飲料	1.2	90.2	24.6	21.5	13.9	3.7	21.6	14.8	6.4	10.4	13.6	2.6	0.5	
全体	100.0	93.9	44.6	19.9	18.7	10.1	22.3	20.5	7.4	12.6	4.3	10.5	0.2	

5. 旅行情報と旅行情報源

(1) 出発前に役に立った旅行情報源

- 出発前に役に立った旅行情報源では、「SNS」(39.1%)、「動画サイト」(36.0%)、「個人のブログ」(26.0%)の順が多い(図表5-1)。
- 「日本政府観光局ホームページ」の選択率は12.3%、「日本政府観光局の案内所」の選択率は2.4%であった。

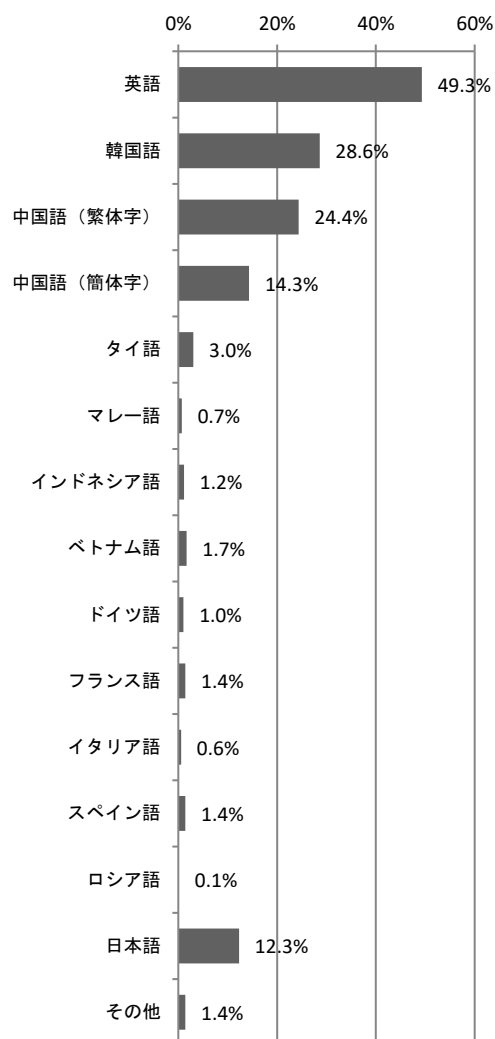
図表 5-1 出発前に役に立った旅行情報源
(全国籍・地域、複数回答)



(2) 出発前に旅行情報を得た言語

- 出発前に役に立った旅行情報源の言語では、「英語」が49.3%と最も多い。次いで、「韓国語」(28.6%)、「中国語(繁体字)」(24.4%)、「中国語(簡体字)」(14.3%)、「日本語」(12.3%)の順が多い(図表5-2)。

図表 5-2 出発前に役に立った旅行情報源の言語
(全国籍・地域、複数回答)



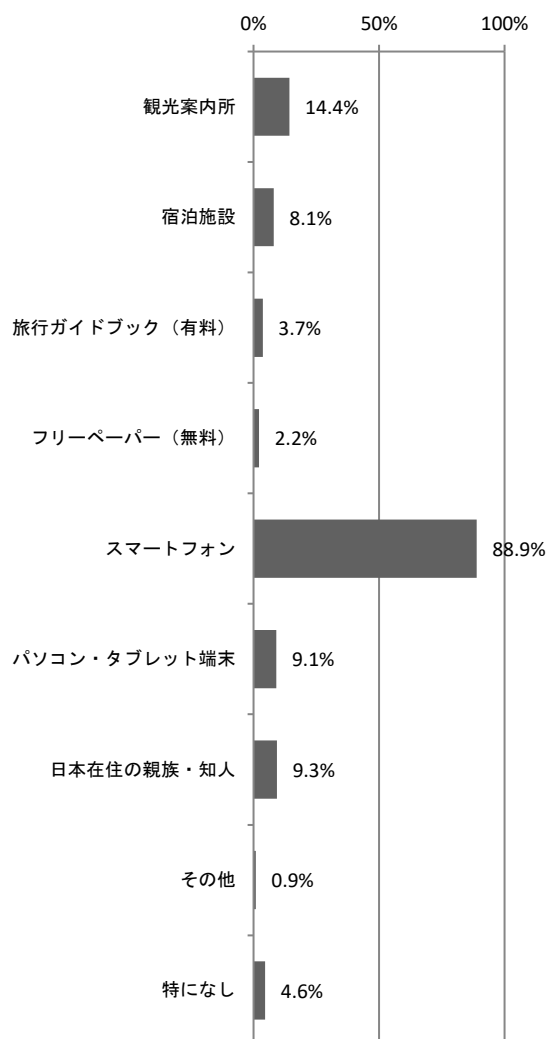
(3) 日本滞在中に役に立った旅行情報源

- 日本滞在中に役に立った旅行情報源では、「スマートフォン」が88.9%と最も多い。次いで、「観光案内所」(14.4%)、「日本在住の親族・知人」(9.3%)、「パソコン・タブレット端末」(9.1%)、「宿泊施設」(8.1%)の順で多い(図表5-3)。

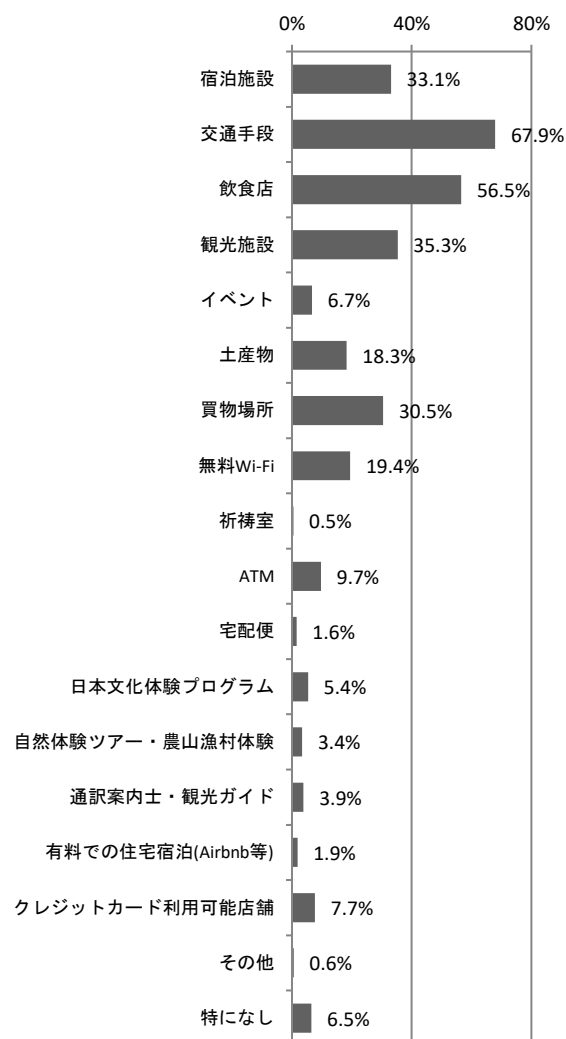
(4) 日本滞在中に役に立った旅行情報

日本滞在中に役に立った旅行情報では、「交通手段」が67.9%と最も多い。次いで「飲食店」(56.5%)、「観光施設」(35.3%)、「宿泊施設」(33.1%)、「買物場所」(30.5%)、「無料Wi-Fi」(19.4%)の順で多い(図表5-4)。

図表 5-3 日本滞在中に役に立った旅行情報源
(全国籍・地域、複数回答)



図表 5-4 日本滞在中に役に立った旅行情報
(全国籍・地域、複数回答)

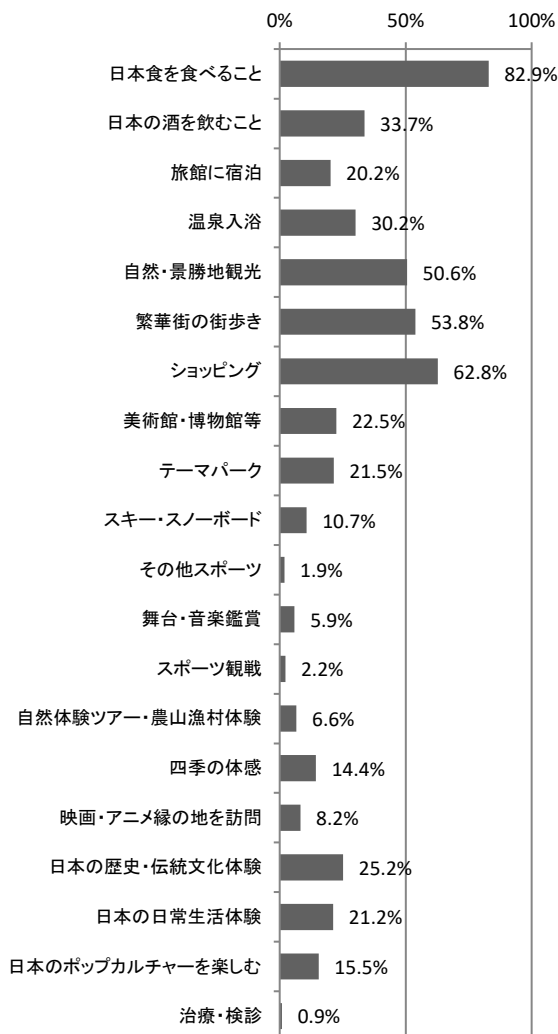


6. 日本滞在中の行動

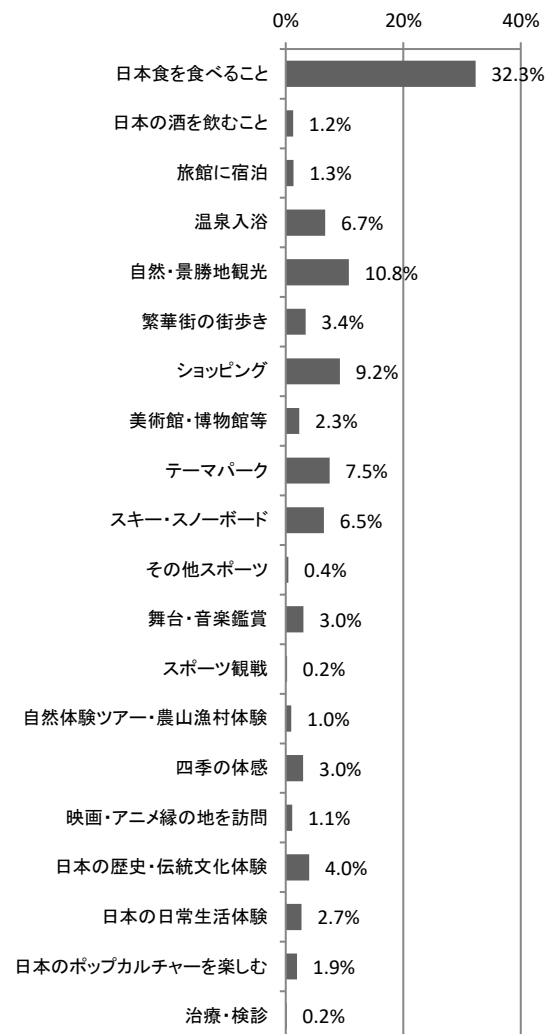
(1) 訪日前に期待していたこと

- 訪日前に期待していたことを複数回答で尋ねたところ、「日本食を食べること」が82.9%と最も多かった。次いで「ショッピング」(62.8%)、「繁華街の街歩き」(53.8%)、「自然・景勝地観光」(50.6%)の順で多い(図表6-1)。
- 訪日前に最も期待していたことを単一回答で尋ねたところ、「日本食を食べること」(32.3%)、「自然・景勝地観光」(10.8%)、「ショッピング」(9.2%)、「テーマパーク」(7.5%)、「温泉入浴」(6.7%)の順で多い(図表6-2)。

図表 6-1 訪日前に期待していたこと
(全国籍・地域、複数回答)



図表 6-2 訪日前に最も期待していたこと
(全国籍・地域、単一回答)



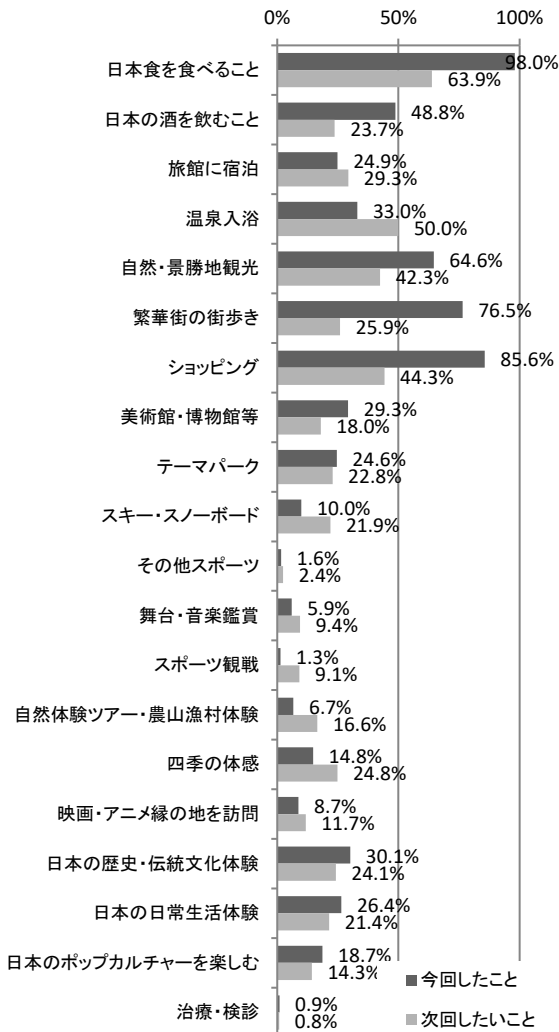
(2) 今回したことと次回したいこと

- 今回の日本滞在中にしたことでは、「日本食を食べること」(98.0%)、「ショッピング」(85.6%)、「繁華街の街歩き」(76.5%)の順で選択率が高い(図表6-3)。
- 次回日本を訪れた時にしたいことでは、「日本食を食べること」(63.9%)、「温泉入浴」(50.0%)、「ショッピング」(44.3%)の順で選択率が高い。

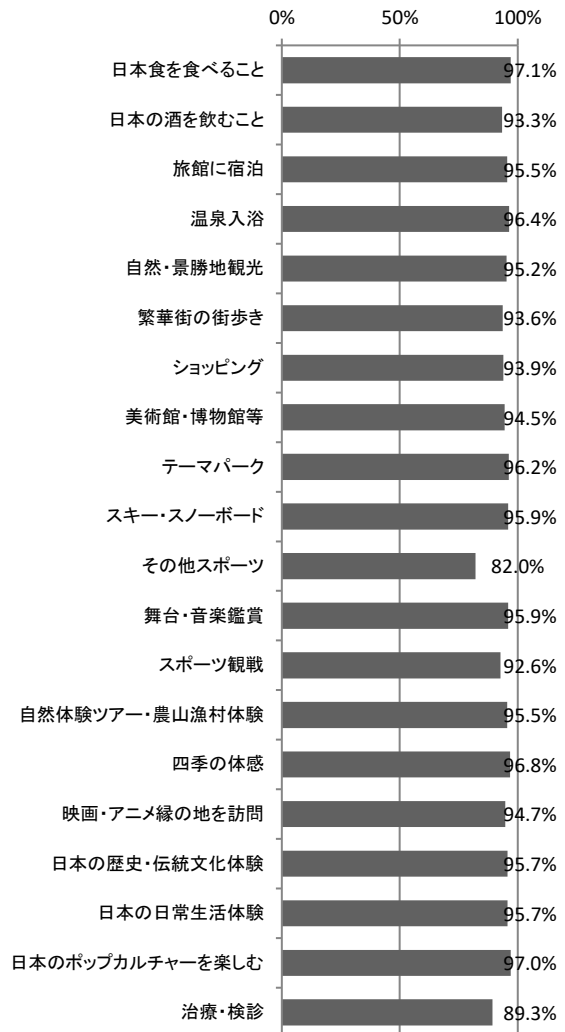
(3) 今回したことの満足度

- 今回の日本滞在中にしたことの満足度を尋ねた結果、「満足した」と回答した人の割合は「日本食を食べること」(97.1%)、「日本のポップカルチャーを楽しむ」(97.0%)、「日本のポップカルチャーを楽しむ」(97.0%)、「四季の体感」(96.8%)、「温泉入浴」(96.4%)、「テーマパーク」(96.2%)の順で多い(図表6-4)。

図表 6-3 今回したことと次回したいこと
(全国籍・地域、複数回答)



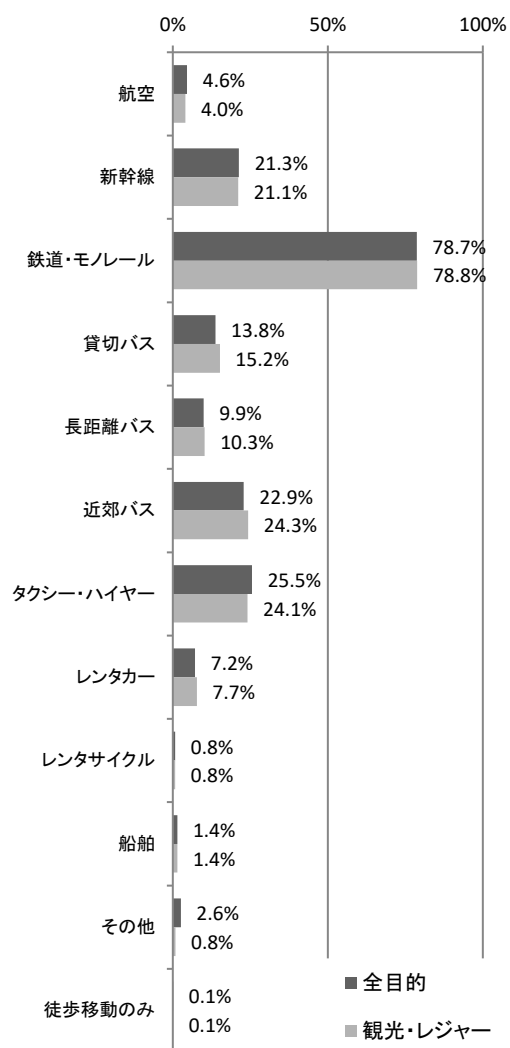
図表 6-4 今回した人のうち満足した人の割合
(全国籍・地域、複数回答)



(4) 利用した交通手段

- 利用した交通手段は「鉄道・モノレール」(78.7%)が最も多く、次いで「タクシー・ハイヤー」(25.5%)、「近郊バス」(22.9%)、「新幹線」(21.3%)、「貸切バス」(13.8%)の順が多い(図表6-5)。

図表 6-5 利用した交通手段
(全国籍・地域、複数回答)



II 訪日外国人消費動向調査について

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

訪日外国人旅行者の消費動向を明らかにし、外国人観光客誘致に関する施策の企画立案、評価等のための基礎資料を得ることを目的とする。

本調査では、目的に応じて以下に示す3つの調査を四半期毎に実施している。

A 1 全国調査

日本全体での訪日外国人の客層や旅行内容、消費実態を明らかにする。

B 1 地域調査

訪問地（都道府県）毎に、訪日外国人の客層や旅行内容、消費実態を明らかにする。

B 2 クルーズ調査

船舶観光上陸許可を得た訪日外国人の客層や旅行内容、消費実態を明らかにする。

(2) 調査の沿革

2010年（平成22年）

4-6月期より調査開始。

2014年（平成26年）

高松空港を調査地点に追加。

インドネシア、フィリピン、ベトナムを調査対象に追加。

調査票の変更（ラウンジ利用や消費税免税手続きに係る設問の追加等）。

2015年（平成27年）

函館空港、小松空港、富士山静岡空港、関門（下関）港、厳原港、鹿児島空港を調査地点に追加。

イタリア、スペインを調査対象に追加。

調査票の変更（申込方法や訪問地毎の支出金額、世帯年収に係る設問の追加等）。

2018年（平成30年）

従来調査（A 1 全国調査）に加え、B 1 地域調査、B 2 クルーズ調査を新たに開始。青森空港、茨城空港、富山空港、岡山空港、米子空港、佐賀空港、宮崎空港、境港、長崎港、那覇港を調査地点に追加。

調査票の変更（訪日頻度に係る設問の追加、支出金額の費目細分化等）。

2019年（平成31年、令和元年）

B 2 クルーズ調査において平良港、石垣港を調査地点に追加。

2020年（令和2年）

調査票の変更（A 1 全国調査では意識調査に係る設問の追加。B 1 地域調査では日本への来訪回数や同行者に係る設問の追加と主な来訪目的に係る設問の選択肢変更等。B 2 クルーズ調査では専用の調査票を新設）。

(3) 調査の根拠法令

本調査は、統計法（平成19年法律第53号）第2条に規定する一般統計として実施した。なお、一般統計の実施と併せ、訪日旅行全体の満足度や再訪意向等の意識調査を同時に行った。

(4) 調査の対象

A 1 全国調査

日本国内の17空海港（※1）から出国する訪日外国人。

（※1）新千歳空港、函館空港、仙台空港、東京国際空港、成田国際空港、富士山静岡空港、中部国際空港、小松空港、関西国際空港、広島空港、高松空港、福岡空港、鹿児島空港、那覇空港、関門港（下関）、博多港、厳原港

B 1 地域調査

日本国内の25空海港（※2）から出国する訪日外国人。

(※2) 新千歳空港、函館空港、青森空港、仙台空港、茨城空港、東京国際空港、成田国際空港、富士山静岡空港、中部国際空港、富山空港、小松空港、関西国際空港、米子空港、岡山空港、広島空港、高松空港、福岡空港、佐賀空港、宮崎空港、鹿児島空港、那覇空港、境港、関門港（下関）、博多港、厳原港

B 2 クルーズ調査

博多港、長崎港、那覇港、平良港又は石垣港に寄港するクルーズ船のうち、同港が日本国内の最終寄港地であるクルーズ船に乗船する訪日外国人であって、出入国管理及び難民認定法（昭和 26 年政令第 319 号）第 14 条の 2 に基づく船舶観光上陸の許可を得て同港に上陸した者。

ただし、A 1 全国調査、B 1 地域調査及び B 2 クルーズ調査いずれも以下の者を除く。

- 1) 日本に入国していないトランジット客
- 2) 乗員
- 3) 1 年以上の滞在者
- 4) 出入国管理及び難民認定法に基づく永住者、永住者の配偶者等及び定住者

(5) 抽出方法

本調査は標本調査であるが、空海港の国際線ターミナル搭乗待合ロビーにおいて日本から出国する訪日外国人を対象とした聞き取り調査の手法を採用しており、有意抽出法に該当する。したがって、厳密には調査から得られた結果の性質を理論的に評価することはできない。しかし、調査結果を可能な限り母集団の持つ性質に近づけるため、無作為抽出法で一般に用いられる標本設計の手法を適用して標本サイズを決定している。

A 1 全国調査

A 1 全国調査の標本設計においては、法務省「出入国管理統計」の外国人単純出国者数（前年同期）のうち、調査地点である 17 空海港からの出国者数を母集団とする。訪日外国人の国籍・地域により層化を行い、各層において独立に標本抽出を行う。

B 1 地域調査

B 1 地域調査の標本設計においては、法務省「出入国管理統計」の外国人単純出国者数（前年同期）のうち、調査地点である 25 空海港からの出国者数を母集団とする。訪日外国人の出国港により層化を行い、各層において独立に標本抽出を行う。

B 2 クルーズ調査

国内最終寄港地と見込まれるクルーズ船を各調査港における調査対象の候補とする。調査対象候補となるクルーズ船を、次の寄港地（外国）の国・地域毎に層化した上で、予定寄港回数に基づく比例配分法によって調査対象便を抽出する。便毎の調査対象者数は均等割当とし、客層等の偏りを防ぐため 1 便当たりの回収数上限を 50 票と設定する。

(6) 目標精度と標本サイズ

A 1 全国調査

国籍・地域毎の「1 人当たり旅行総支出」の平均値を推定値とし、目標精度（推定値の標準誤差率）を表 1 のように定めた。

表 1 A 1 全国調査の目標精度

国籍・地域 (21区分)	目標 標準誤差率	目標 回収数	国籍・地域 (21区分)	目標 標準誤差率	目標 回収数
韓国	3.0%	780	英国	7.0%	190
台湾	3.0%	610	ドイツ	7.0%	290
香港	3.0%	650	フランス	7.0%	140
中国	3.0%	1,000	イタリア	10.0%	80
タイ	5.0%	300	スペイン	10.0%	70
シンガポール	7.0%	140	ロシア	10.0%	110
マレーシア	7.0%	360	米国	3.0%	1,250
インドネシア	7.0%	220	カナダ	7.0%	220
フィリピン	7.0%	250	オーストラリア	5.0%	240
ベトナム	7.0%	350	その他	5.0%	320
インド	10.0%	260	合計		7,830

この目標精度を達成するために必要となる標本サイズ（目標回収数）を、2016 年（平成 28 年）調査結果を用いて導出した。その結果、A 1 全国調査の標本サイズは各四半期 7,830 票となった。なお、調査港（出国港）毎の標本配分は、前年同期の外国人単純出国者数に比例して割り当てる。

B 1 地域調査

訪問地（都道府県）毎の「1人1日当たり旅行中支出」の平均値を推定値とし、目標精度（推定値の標準誤差率）を表2のように定めた。

表2 B 1 地域調査の目標精度

都道府県 (47区分)	目標 標準誤差率	目標 回収数	都道府県 (47区分)	目標 標準誤差率	目標 回収数
北海道	5.0%	420	三重県	20.0%	140
青森県	20.0%	50	滋賀県	20.0%	50
岩手県	20.0%	50	京都府	5.0%	740
宮城県	20.0%	50	大阪府	5.0%	780
秋田県	20.0%	50	兵庫県	5.0%	900
山形県	20.0%	50	奈良県	5.0%	3,160
福島県	20.0%	50	和歌山県	20.0%	80
茨城県	20.0%	80	鳥取県	20.0%	50
栃木県	10.0%	180	島根県	20.0%	50
群馬県	20.0%	50	岡山県	20.0%	60
埼玉県	20.0%	50	広島県	10.0%	170
千葉県	5.0%	4,890	山口県	20.0%	110
東京都	5.0%	1,140	徳島県	20.0%	50
神奈川県	5.0%	830	香川県	20.0%	50
新潟県	20.0%	50	愛媛県	20.0%	60
富山県	10.0%	290	高知県	20.0%	50
石川県	10.0%	210	福岡県	5.0%	530
福井県	20.0%	50	佐賀県	20.0%	70
山梨県	10.0%	600	長崎県	10.0%	120
長野県	10.0%	290	熊本県	10.0%	150
岐阜県	10.0%	200	大分県	10.0%	120
静岡県	10.0%	840	宮崎県	20.0%	50
愛知県	5.0%	950	鹿児島県	20.0%	50
			沖縄県	5.0%	400

この目標精度を達成するために必要となる標本サイズ（目標回収数）を、2019年（平成31年／令和元年）調査の実績に基づいて導出した。各都道府県訪問者の出現率は出国港によって異なるため、標本サイズに出現率の逆数を乗じて調査港（出国港）毎の必要回収数を算出し、B 1 地域調査の標本サイズは各四半期 24,620 票となった。なお、訪日外国人の国籍・地域毎の標本配分は、前年同期の外国人単純出国者数に比例して割り当てる。

B 2 クルーズ調査

調査港（国内最終寄港地）毎の「1人当たり旅行中支出」の平均値を推定値とし、目標精度（推定値の標準誤差率）を表3のように定めた。

表3 B 2 クルーズ調査の目標精度

最終寄港地 (3区分)	目標 標準誤差率	目標 回収数
博多港	5.0%	430
長崎港	5.0%	530
那覇・平良・石垣港	5.0%	430
総数		1,390

この目標精度を達成するために必要となる標本サイズ（目標回収数）を、2018年（平成30年）1-6月期調査の実績に基づいて導出した。その結果、B 2 クルーズ調査の標本サイズは各四半期 1,390 票となった。

(7) 調査事項

A 1 全国調査

入国日、入国した空海港、在留資格、国籍・地域、居住地、性別、年齢、同行者、日本への来訪回数、前回の来訪時期、過去1年間の来訪回数、主な来訪目的、訪問地名、宿泊施設の種類及び泊数、旅行手配方法、ツアー料金又は往復航空（船舶）料金、申込方法、ツアー料金に含まれるサービス、日本滞在中の費目別支出、消費税免税手続き実施状況、世帯年収、その他意識調査

B 1 地域調査

国籍・地域、旅行手配方法、ツアー料金又は往復航空（船舶）料金、Japan Rail Pass の利用状況と料金、入国港、訪問地名、宿泊施設の種類及び泊数、訪問地毎の費目別支出、利用した交通手段、買物場所、利用した決済方法、性別、年齢、在留資格、入国日、同行者、日本への来訪回数、主な来訪目的、その他意識調査

B 2 クルーズ調査

入国日、在留資格、国籍・地域、性別、年齢、同行者、日本への来訪回数、主な来訪目的、日本国内の寄港地における旅行手配方法、クルーズ船料金、買物費目、寄港地、寄港地毎の費目別支出

（８）調査の時期

2024年1月9日（火）～3月29日（金）

注）今期は下記空港で調査を実施した。

・ A 1 全国調査：新千歳空港、函館空港、仙台空港、東京国際空港、成田国際空港、富士山静岡空港、中部国際空港、小松空港、関西国際空港、広島空港、高松空港、福岡空港、鹿児島空港、那覇空港、関門港（下関）、博多港

・ B 1 地域調査：新千歳空港、函館空港、仙台空港、茨城空港、東京国際空港、成田国際空港、富士山静岡空港、中部国際空港、富山空港、小松空港、関西国際空港、米子空港、岡山空港、広島空港、高松空港、福岡空港、佐賀空港、宮崎空港、鹿児島空港、那覇空港、関門港（下関）、博多港

・ B 2 クルーズ調査：博多港、長崎港、那覇港、石垣港、平良港

（９）調査の方法

調査対象空海港の出国ロビーにいる訪日外国人に調査員が協力を求め、タブレット端末又は紙調査票を示しつつ、聞き取る方式（他計方式）により行う。

調査票対応言語

英語、韓国語、中国語（繁体字、簡体字）、タイ語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、インドネシア語、ベトナム語、以上12言語

2. 用語の解説

(1) 主要項目

一般客

クルーズ客（後述）を除く訪日外国人。

クルーズ客

出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）第14条の2に基づく船舶観光上陸の許可を得た訪日外国人。

注）訪日旅行の往復に航空機等を利用し、日本国内発着のクルーズ船を利用した訪日外国人は一般客に含まれる。

団体ツアー

旅行会社等が企画したツアーで、大半の旅程を団体で行動するもの。

個人旅行向けパッケージ商品

個人旅行者向けに、往復航空（船舶）券と宿泊等がセットになった旅行商品。

個別手配

団体ツアーや個人旅行向けパッケージ商品を利用せず、往復航空（船舶）券や宿泊等を個別に手配すること。

購入率

ある商品やサービスを購入した人の割合。

購入者単価

ある商品（又はサービス）を購入した人を分母として算出される、その商品（又はサービス）を購入する際に支払った支出金額の平均値。当該商品（又はサービス）を購入していない人も含めて算出される支出金額の平均値（費目別旅行消費単価）とは区別して使用される。

旅行前支出

団体ツアー参加者及び個人旅行向けパッケージ商品の利用者についてはパッケージツ

ア参加費が旅行前支出となる。一方、個別手配者については航空・船舶会社に支払われる国際旅客運賃が旅行前支出となる。

旅行中支出

宿泊費や飲食費、交通費、娯楽等サービス費、買物代等、訪日外国人が日本滞在中に支払った支出金額。宿泊費や交通費などで旅行前に決済された場合でも旅行中支出に含まれるが、パッケージツアー参加費に含まれる支出金額は含まれない。

旅行総支出

旅行前支出と旅行中支出の合計。

パッケージ内訳

パッケージツアー参加費に含まれる宿泊費や飲食費、交通費等の国内収入分。回答者から直接報告を得ることができないため、観光・レジャー目的の個別手配者の旅行支出における費目別構成比を用いて推計する。

旅行支出

旅行中支出にパッケージ内訳を加算した金額。

旅行消費単価

1人当たり支出の総称であり、旅行中支出又は旅行支出の意。集計表の表題に使用している。

訪日外国人旅行消費額

旅行消費単価に旅行者数を乗じることにより推計される総額。

地方運輸局等

以下に示す10の地域区分。それぞれの地域区分に含まれる都道府県は以下の通り。

【1. 北海道】北海道

【2. 東北】青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

【3. 関東】茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県

- 【4. 北陸信越】新潟県、富山県、石川県、長野県
- 【5. 中部】福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
- 【6. 近畿】滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、兵庫県
- 【7. 中国】鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- 【8. 四国】徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- 【9. 九州】福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
- 【10. 沖縄】沖縄県

(2) 支出費目

a. 宿泊費

ホテル、旅館、国民宿舎、モーテル、簡易宿泊所、山小屋、下宿屋、保養所、ユースホテル、ゲストハウス、会員制の宿泊施設（タイムシェア、バケーションレンタルを含む）、有料での住宅宿泊、合宿所、長期滞在者の家賃

注) パッケージツアー料金に含まれる宿泊費は含まれない。出発前にインターネット等で決済したものを含む。日本国外での宿泊費は含まれない。

b. 飲食費

食堂、レストラン、専門料理店、そば・うどん店、すし店、酒場、ビヤホール、バー、キャバレー、ナイトクラブ、喫茶店、ハンバーガー店、飲食系の移動販売、配達飲食サービス

注) パッケージツアー料金又は宿泊費に含まれる飲食費は含まれない。弁当等を購入して持ち帰った場合には e4. その他食料品・飲料・酒・たばこに分類。

c. 交通費

c1. 航空

飛行機（日本国内の移動のみ）

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。外国と日本との間の航空運賃は含まれない。

c2. Japan Rail Pass

JR グループ各社が外国人旅行者向けに提供している特別企画乗車券

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。「Japan Rail Pass」に加え、外国人旅行者向け JR 特別企画乗車券を含む。

c3. 新幹線・鉄道・地下鉄・モノレール

JR、鉄道、路面電車、地下鉄、モノレール、案内軌条式鉄道（ゆりかもめ等）、鋼索鉄道

（ケーブルカー）、索道（ロープウェイ等、ただしスキー場におけるものを除く）、交通系電子マネーのカード購入費、フリー乗車券（c2. Japan Rail Pass に該当するものを除く）

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。スキー場におけるリフト・ロープウェイ等の利用料金は d7. スキー場リフトに分類。

c4. バス

乗合バス（路線バス、長距離バス等）、貸切バス（団体観光バス等）

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

c5. タクシー

ハイヤー、タクシー

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

c6. レンタカー

レンタカー、レンタルバイク

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。ガソリン代や有料道路料金、有料駐車場料金は c8. その他交通費に分類。

c7. 船舶

船舶（日本国内の移動のみ）、遊覧船

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。外国と日本との間の船舶運賃は含まれない。貸ボートは d11. レンタル料、遊漁船は d12. その他娯楽等サービス費に分類。

c8. その他交通費

高速道路・有料道路・橋・トンネル等の通行料、駐車場料金、ガソリン代

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d. 娯楽等サービス費

d1. 現地ツアー・観光ガイド

日本国内での現地ツアー、観光案内(ガイド)

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d2. ゴルフ場・スポーツ施設利用料

次の施設利用料：ゴルフ場、ゴルフ練習場、ボウリング場、テニスコート、フィットネスクラブ、プール、アイススケート場

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。スポーツ観戦料は d5. スポーツ観戦に分類。

d3. テーマパーク

次の入場料：テーマパーク、遊園地、公園

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d4. 舞台・音楽鑑賞

次のチケット料金：音楽コンサート、演劇、歌舞伎、寄席、サーカス

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d5. スポーツ観戦

次のチケット料金：相撲・サッカー・野球・ボクシング・プロレス・ゴルフの観戦

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。スポーツ施設利用料は d2. ゴルフ場・スポーツ施設利用料に分類。

d6. 美術館・博物館・動植物園・水族館

次の入場料：美術館、博物館、動物園、植物園、水族館、公民館、図書館、城、プラネタリウム

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d7. スキー場リフト

スキー場における索道(リフト・ロープウェイ等)の利用料金

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d8. 温泉・温浴施設・エステ・リラクゼーション

スーパー銭湯、温泉浴場、砂湯、スパ、健康ランド、ネイルサロン、エステティックサロン、ボディケア、ハンドケア、フットケア、アロマオイルトリートメント、タラソテラピー

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d9. マッサージ・医療費

あん摩マッサージ、指圧マッサージ、はり、きゅう、病院・医院・診療所での診療、整体等の医業類似行為

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。処方薬の購入は e6. 医薬品に分類。

d10. 展示会・コンベンション参加費

次の参加費：展示会、コンベンション、見本市、博覧会、品評会、学会、その他会議

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d11. レンタル料

次のレンタル料：スキーウェア、スキー板、スノーボード板、スケート靴、スポーツ用品、自転車(レンタサイクル)、テント、ボート、ヨット、衣装、ビデオ、本、医療・福祉用具等

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d12. その他娯楽等サービス費

公営競技(競馬・競輪等)の入場料・投票券(馬券・車券等)、映画館、ビリヤード場、

囲碁・将棋所、マージャンクラブ、パチンコホール、ゲームセンター、ダンスホール、マリーナ、遊漁船、芸妓（げいぎ）、カラオケボックス、釣堀、銀行やATMの手数料、両替手数料、保険料、学校、専門学校等の授業料、託児サービス・介護サービスの利用料、コインシャワー、コインランドリー、クリーニング、理容店、美容院、ラウンジ利用料、手荷物預かり所、写真現像、郵便、宅配便の利用料金、公衆電話、携帯電話等の通話料金、等

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

e. 買物代

e1. 菓子類

キャラメル、ドロップ、キャンデー、チョコレート、チューインガム、焼菓子、ビスケット、米菓、和生菓子、洋生菓子、スナック菓子、その他菓子類

e2. 酒類

酒全般：清酒、みりん、ビール、発泡酒、ウイスキー類、果実酒類、合成清酒、焼酎、スピリッツ、リキュール

注) 飲食店等で消費した場合は**b. 飲食費**に分類。宿泊費に含まれている飲食費は**a. 宿泊費**に計上。

e3. 生鮮農産物

野菜（きのこを含む）、果物、花、種苗等

注) 卵・肉等の畜産物、魚等の水産物、加工食品は**e4. その他食料品・飲料・たばこ**に分類。

e4. その他食料品・飲料・たばこ

・**e1. 菓子類**～**e3. 生鮮農産物**を除く食料品全般：卵、肉類、魚介類、缶詰・瓶詰、乳製品、冷凍食品、食用油、精米、乾めん、即席めん、マカロニ・スパゲッティ、生めん、パン、ジャム、はちみつ、調味料・香辛料、

みそ、レトルト食品、即席ラーメン、総菜、弁当、豆腐、納豆、健康食品

・酒類を除く飲料全般：緑茶（茶葉）、紅茶（茶葉）、ウーロン茶（茶葉）、コーヒー（豆又は挽いたもの）、炭酸飲料、果実飲料、緑茶飲料、紅茶飲料、ウーロン茶飲料、コーヒー飲料、麦茶飲料、豆乳、ミネラルウォーター、スポーツドリンク、栄養ドリンク

・たばこ全般：紙巻たばこ、葉巻たばこ等

注) 飲食店等で消費した場合は**b. 飲食費**に分類。宿泊費に含まれている飲食費は**a. 宿泊費**に計上。

e5. 化粧品・香水

香水、オーデコロン、頭髮用化粧品（シャンプー、ヘヤーリンス、養毛剤、整髪料等）、皮膚用化粧品（クリーム、乳液、化粧水、パック等）、仕上用化粧品（ファンデーション、口紅、アイメイクアップ等）、日やけ止め、ひげそり用化粧品、歯磨剤

注) 歯ブラシ、化粧用ブラシは**e16. その他買物代**に分類。

e6. 医薬品

医薬品（風邪薬、胃腸薬、湿布薬、目薬等）、調剤薬局での処方薬、腋臭防止剤、洗眼薬、虫除け、外用消毒剤、軟膏剤、ビタミン剤等サプリメント、その他医薬部外品

e7. 健康グッズ・トイレタリー

マッサージ用具（電気製品でないもの）、美顔用具（電気製品でないもの）、エクササイズ用具（電気製品でないもの）、アイマスク、爪切り、磁気ネックレス、石けん・合成洗剤、界面活性剤、柔軟仕上げ剤、医療用ガーゼ、包帯、脱脂綿、ばんそうこう、綿棒、紙タオル、紙ナプキン、紙おむつ、生理用品、ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の紙製衛生用品

e8. 衣類

衣服、スポーツ用衣服、下着・寝着類、コート、レインコート、帽子、毛皮製衣服、ネクタイ、スカーフ、マフラー、ハンカチーフ、靴下、手袋、帽子、和服（着物、浴衣）、帯、足袋類等の和装製品

e9. 靴・かばん・革製品

靴・履物、スポーツ用靴（登山靴、スケート靴、ゴルフ靴等）、スリッパ、サンダル、かばん、ハンドバッグ、リュック、ランドセル、スーツケース、名刺入れ、財布、ベルト、腕時計用革バンド

e10. 電気製品

デジタルカメラ、ビデオカメラ、デスクトップパソコン、ノートパソコン、ディスプレイ・モニター、外部記憶装置、プリンタ、炊飯器、ジャーポット、電子レンジ、電気冷蔵庫、食器洗い乾燥機、電磁調理器、エアコン、扇風機、電気温水器、除湿器、加湿器、空気清浄機、電気アイロン、掃除機、洗濯機、洗濯物乾燥機、電気温水洗浄便座、電気ドライヤー、電気シェーバー、電気ストーブ、電気カーペット、電気マッサージ器具、ランプ、携帯電灯、懐中電灯、乾電池、蓄電池、ステレオセット、デジタルオーディオディスクプレイヤー、補聴器、スピーカ、マイクロホン、イヤホン、テレビ、ラジオ、電話機、ファクシミリ、携帯電話機、カーナビゲーションシステム、電気製品の部品

e11. 時計・フィルムカメラ

腕時計、置時計、ストップウォッチ、タイマー時計、時計の部品、フィルムカメラ、インスタントカメラ、カメラレンズ、カメラ付属品（ストロボ、三脚等）、望遠鏡、双眼鏡

e12. 宝石・貴金属

宝石（天然宝石、真珠等）や貴金属（金、銀、プラチナ等）が主体である以下の製品：アク

セサリー（ネックレス、ブレスレット、指輪、イヤリング、ブローチ等）、メダル、貴金属製たばこケース、貴金属製ナイフ・フォーク・スプーン・皿等の洋食器類、その他の身近細貨品

e13. 民芸品・伝統工芸品

日本の地域独自の手工芸品に該当する以下の製品：織物、染色品、陶磁器、漆器、ガラス容器、木工品、竹工品、金工品、仏壇、仏具、和紙、文具（筆、墨、硯、そろばん）、石工品、人形、玩具、扇子、団扇、和傘、提灯、和楽器、工芸用具、工芸材料、アクセサリ（ネックレス、ブレスレット、指輪、イヤリング、ブローチ等）

e14. 本・雑誌・ガイドブックなど

新聞、書籍、マンガ、雑誌、定期刊行物、その他の出版物、絵葉書、ポスター

e15. 音楽・映像・ゲームなどソフトウェア

音楽や映像等のコンテンツが記録されているメディア（CD、DVD、ブルーレイディスク、磁気テープ、レコード等）、ゲームソフト、コンピュータソフト（CD、DVD等）、有料アプリ

e16. その他買物代

寝具、じゅうたん・カーペット、タオル、カーテン、クッション、家具、文房具、箸（はし）、台所用品（包丁、まな板等）、食器、アクセサリ、乗用車・二輪自動車・自転車とその部品、空の記録メディア（CD、DVD、ブルーレイディスク、磁気テープ等）、玩具（おもちゃ）、ゲーム機、楽器、歯ブラシ、化粧用ブラシ、清掃用品（ほうき、はたき、モップ）、洋傘、マッチ、たばこ用ライター、模型（地球儀、食品模型）、魔法瓶、線香類、眼鏡、眼鏡わく、眼鏡レンズ、コンタクトレンズ、カメラフィルム等

注) e12. 宝石・貴金属又は e13. 民芸品・伝統工芸品に相当するものを除く。

f. その他

その他 (a. 宿泊費から e. 買物代までに相当しないもの)

注) 現地ツアー料金に含まれる保険料は d1. 現地ツアー・観光ガイドに計上。電話機本体の購入は e10. 電気製品に分類。

(3) 買物場所

百貨店・デパート

原則として百貨店協会加盟の店舗

家電量販店

PC やカメラ、電気製品を専門に販売する店舗

ファッション専門店

服・鞆・靴・アクセサリ・高級腕時計等を専門に販売する店舗

100 円ショップ

店内の商品を原則として1点100日本円均一で販売する形態の小売店

高速道路のSA・道の駅

高速道路のサービスエリア(SA)やパーキングエリア(PA)、国土交通省に登録されている「道の駅」

観光地の土産店

観光地内にある小売店

宿泊施設

旅館・ホテル等の館内に併設されている土産店

スーパーマーケット

高頻度に消費される食料品や日用品等をセルフサービスで短時間に買えるようにした小売店舗

コンビニエンスストア

年中無休で長時間の営業を行い、小規模な店舗において主に食品、日用雑貨等多数の品種を扱う形態の小売店

ドラッグストア

医薬品や化粧品、トイレタリーを中心とし、併せて日用品や文房具、食料品等を扱う店舗

ディスカウントストア

一時的なセールではなく常に低価格で商品を提供する安売り店舗で、一般的には生鮮食料品を除く生活用品を総合的に取り扱う

アウトレットモール

「メーカー品」(通常、メーカーのブランド名を表示したもの)や、「高級ブランド品」(通常、百貨店等で高額でも購入者がつき、販売可能なもの)を低価格で販売する複数のアウトレット店舗を一箇所に集めモールを形成したショッピングセンター

都心の複合商業施設

都心部に立地し、商業施設や飲食施設、映画館、遊技場等の娯楽施設等が一体的に整備された施設

その他ショッピングセンター

複数の小売店舗が入居する商業施設で、上記の買物場所に当てはまらないもの

鉄道駅構内の店舗

駅構内にある小型売店

注) 駅ビルは「百貨店・デパート」に含まれる。

空港の免税店

空港の制限区域内にあるブランドショップ

クルーズ寄港港湾内の店舗

クルーズ船が寄港する港の旅客施設内に設置されている小売店舗(臨時店舗を含む)

その他

上記に当てはまらない買物場所(書店、CD・DVD・レコード販売店、家具屋、観光施設内にある店舗、アンテナショップ、郵便局、質屋・金券ショップ等)

3. 調査の結果

(1) 表章事項

A 1 全国調査及びB 1 地域調査

国籍・地域別、居住地別ならびに訪問地（都道府県及び地方運輸局等）別の3つの集計区分毎に、回答者属性や旅行内容に係る構成比、費目別購入率・購入者単価、回答者属性や旅行内容別の旅行消費単価、平均泊数を表章している。加えて、国籍・地域別の消費税に係る免税手続き実施状況、国籍・地域別及び出国港別の都道府県別訪問率を表章している。

参考として、パッケージツアー参加費内訳を含む旅行消費単価や、訪日旅行に関する意識について国籍・地域別の集計を行っている。また、主な来訪目的が「観光・レジャー」の旅行者に限定して、国籍・地域別及び訪問地（都道府県及び地方運輸局等）別の集計区分による集計も行っている。

B 2 クルーズ調査

国内最終寄港地別を集計区分とし、回答者属性や旅行内容に係る構成比、費目別購入率・購入者単価、回答者属性や旅行内容別の旅行消費単価、滞在日数を表章している。

(2) 集計方法

ウェイトバック集計

本調査の回答数は訪日外国人の「国籍・地域」や帰国時に利用する「出国港」によって区分される層毎で標本の抽出率が異なる。そのため、集計結果を母集団の構成に合わせることを目的として、集計表の作成にあたってはウェイトバック（重み付け）を施している。四半期調査結果では、日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数」ならびに法務省「出入国管理統計」の単純出国者数をウェイトとして使用している。

なお、集計表中に統計精度の参考値として「回答数」を付記しているが、これは回収された回答数を単純に計数したものであり、ウェイトバックを施していない。そのため、ウェイトバック集計により算出された「構成比」や「購入率」「選択率」などの統計値と、「回答数」を元に算出するこれらの数値は一致しない点に留意されたい。

当該ウェイトバック集計の算出式は次の通りである。

$$X = \frac{\sum_i x_i N_i}{\sum_i N_i}$$

X ：全体（全国籍・地域）の統計値

x_i ：層 i の統計値

N_i ：層 i の訪日外客数

さらに、A 1 全国調査とB 1 地域調査の整合を図るため、B 1 地域調査から導出される集計表については、以下の数値に関してA 1 全国調査の結果と一致するようにウェイトの調整を行っている。

- ・国籍・地域（21 区分）及び主な来訪目的（3 区分）別の訪日外国人旅行者数
- ・主な来訪目的（2 区分）別の旅行中支出（総額、大費目別）

旅行支出の円換算

旅行支出については、円又は自国の通貨で調査し、原則としてIMF（国際通貨基金）公表の日次データによる調査期間中平均値を用いて円換算した。但し、IMFにデータがない通貨のうち、ニュー台湾ドル及び香港ドルについてはFRB（連邦準備制度理事会）、インドネシア・ルピアおよびベトナム・ドンについては財務省貿易統計の資料を基に円換算を作成した。

(3) 調査結果の精度

A 1 全国調査

表4 国籍・地域別1人当たり旅行総支出

国籍・地域 (21区分)	標準 誤差率	有効 回答数	国籍・地域 (21区分)	標準 誤差率	有効 回答数
韓国	3.1%	886	英国	4.5%	177
台湾	2.0%	731	ドイツ	3.0%	292
香港	3.0%	678	フランス	5.2%	140
中国	3.2%	1,071	イタリア	5.3%	74
タイ	2.8%	336	スペイン	6.9%	70
シンガポール	5.9%	140	ロシア	-	-
マレーシア	4.5%	372	米国	1.8%	1,454
インドネシア	4.3%	215	カナダ	3.9%	226
フィリピン	7.9%	241	オーストラリア	2.6%	282
ベトナム	6.1%	349	その他	3.9%	318
インド	4.4%	253			
			総数		8,311

B 1 地域調査

表5 訪問地別1人1日当たり旅行中支出

都道府県 (47区分)	標準 誤差率	有効 回答数	都道府県 (47区分)	標準 誤差率	有効 回答数
北海道	2.0%	2,042	三重県	7.7%	383
青森県	8.4%	99	滋賀県	14.1%	89
岩手県	10.7%	95	京都府	2.1%	3,839
宮城県	7.7%	321	大阪府	2.0%	4,562
秋田県	21.3%	60	兵庫県	4.6%	1,103
山形県	8.9%	247	奈良県	4.4%	2,044
福島県	8.2%	163	和歌山県	8.4%	147
茨城県	7.9%	194	鳥取県	23.8%	56
栃木県	11.4%	236	島根県	29.6%	34
群馬県	10.8%	127	岡山県	8.4%	210
埼玉県	14.8%	188	広島県	3.5%	685
千葉県	4.6%	5,797	山口県	22.8%	122
東京都	1.9%	8,241	徳島県	10.8%	52
神奈川県	3.1%	1,670	香川県	9.7%	222
新潟県	8.9%	250	愛媛県	19.8%	103
富山県	9.3%	246	高知県	15.7%	61
石川県	6.2%	509	福岡県	3.5%	2,114
福井県	15.7%	56	佐賀県	10.5%	158
山梨県	3.7%	1,373	長崎県	17.3%	210
長野県	4.8%	836	熊本県	13.7%	498
岐阜県	3.7%	1,393	大分県	3.8%	800
静岡県	7.7%	939	宮崎県	9.5%	87
愛知県	2.7%	2,580	鹿児島県	9.5%	171
			沖縄県	3.9%	572
			総数		28,021

B 2 クルーズ調査

表6 国内最終寄港地別1人当たり旅行中支出

最終寄港地 (3区分)	標準 誤差率	有効 回答数
博多港	7.9%	468
長崎港	9.2%	348
那覇・平良・石垣港	7.4%	366
総数		1,182

(4) 利用上の注意

- 2018年より調査方法を変更したため、2017年までの数値との比較には留意が必要である。
- 各数値はウェイトバック集計後に四捨五入をしており、全体の数値と内訳の合計とは一致しない場合がある。
- 集計表で使用されている「-」は、該当する回答者のいない層（又は集計対象外の層）であることを示している。
- 集計事項により回答数が小さい数値については、取り扱いに留意されたい。
- 都道府県、地方運輸局等別の訪問地には、出入国空海港の所在地が含まれる。
- 各調査結果については、十分な回答数が確保できない場合もあるため、標準誤差率の大きい国籍・地域、都道府県、最終寄港地には留意されたい。
- ロシアについては、十分な回答数が確保できなかったため、今四半期については全国籍・地域の集計対象には含むが、ロシア単体での公表は行わないこととした。

＜集計表＞

【一般客（全目的）】

表 1-1	国籍・地域（21 区分）別	回答者属性および旅行内容	
表 1-2	居住地（21 区分）別	回答者属性および旅行内容	
表 1-3	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	回答者属性および旅行内容	
表 2-1	国籍・地域（21 区分）別	費目別購入率および購入者単価	
表 2-2	居住地（21 区分）別	費目別購入率および購入者単価	
表 2-3	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	費目別購入率および購入者単価	
表 3-1	国籍・地域（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価	
表 3-2	居住地（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価	
表 3-3	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価	
表 3-4	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	1 人 1 泊当たり旅行消費単価	
表 4-1	国籍・地域（21 区分）別	平均泊数	
表 4-2	居住地（21 区分）別	平均泊数	
表 4-3	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	平均泊数	
表 5-1	国籍・地域（21 区分）別	消費税に係る免税手続き実施状況	
表 6-1	国籍・地域（21 区分）別	都道府県別訪問率	
表 6-2	出国港（25 区分）別	都道府県別訪問率	
参考 1	国籍・地域（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価（パッケージツアー参加費内訳含む）	
参考 2	国籍・地域（21 区分）別	費目別 1 人 1 回当たり旅行消費単価（パッケージツアー参加費内訳含む）	
参考 3	国籍・地域（21 区分）別	訪日旅行に関する意識（満足度など）	

【一般客（観光・レジャー目的）】

参考 4	国籍・地域（21 区分）別	回答者属性および旅行内容	
参考 5	国籍・地域（21 区分）別	費目別購入率および購入者単価	
参考 6	国籍・地域（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価	
参考 7	国籍・地域（21 区分）別	平均泊数	
参考 8	国籍・地域（21 区分）別	都道府県別訪問率	
参考 9	国籍・地域（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価（パッケージツアー参加費内訳含む）	
参考 10	国籍・地域（21 区分）別	費目別 1 人 1 回当たり旅行消費単価（パッケージツアー参加費内訳含む）	
参考 11	国籍・地域（21 区分）別	訪日旅行に関する意識（満足度など）	
参考 12	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	回答者属性および旅行内容	
参考 13	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	費目別購入率および購入者単価	
参考 14	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価	
参考 15	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	平均泊数	

【クルーズ客（船舶観光上陸許可を得た外国人）】

表 7-1	国内最終寄港地（3 区分）別	回答者属性および旅行内容	
表 7-2	国内最終寄港地（3 区分）別	費目別購入率および購入者単価	
表 7-3	国内最終寄港地（3 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価	
表 7-4	国内最終寄港地（3 区分）別	都道府県別訪問率（寄港地）	

訪日外国人の消費動向
2024年1-3月期 報告書

発行 2024年6月

編集 国土交通省観光庁
観光戦略課観光統計調査室

〒100-8918

東京都千代田区霞が関2丁目1番2号

電話 代表 03(5253)8111

内線 27230

直通 03(5253)8325

URL <http://www.mlit.go.jp/kankocho/>